

官報

號外 昭和九年三月六日

○第六十五回 貴族院議事速記録第二十三號

帝國議會

昭和九年三月五日(月曜日)午前十時二十一分開議

議事日程 第二十三號

昭和九年三月五日

午前十時開議

- 第一 旭川市舊土人保護地處分法案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第二 臺灣事業公債法中改正法律案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第三 臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第四 昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第五 昭和七年法律第一號中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第六 滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案 (政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第七 大藏省預金部特別會計法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會
- 第八 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

- 第九 貴族院伯子男爵議員選舉規則中改正ニ關スル請願 會議
- 第十 都市計畫ニ依ル寺院境内地ノ受益者負擔金免除規則制定ノ請願 會議
- 第十一 石川縣福浦港築設ノ請願 會議
- 第十二 八戸港ヲ第二種港灣ニ編入ノ請願 會議
- 第十三 土地收用法中改正ニ關スル請願 會議
- 第十四 國立吃音矯正機關設置ノ請願 會議
- 第十五 農村匡救土木費並用水幹線改良費豫算増額ニ關スル請願 會議
- 第十六 養蠶組合指導員設置國庫補助ノ請願 會議
- 第十七 官幣大社熊野坐神社遷座改築ノ請願 會議
- 第十八 戰公傷病死者並傷痍軍人ノ遺族扶助料ニ關スル請願 會議
- 第十九 愛知縣碧海郡刈谷町ニ登記所設置ノ請願 會議
- 第二十 伊東金銀鑛採掘權取消ニ關スル請願 會議
- 第二十一 宮崎縣東臼杵郡門川村ニ區裁判所出張所設置ノ請願 會議

- 第二十二 林野治水ニ關スル請願 會議
- 第二十三 林野整備促進ニ關スル請願 會議
- 第二十四 山陽本線鐵道麻里布、山陰本線鐵道秋ノ兩驛間鐵道敷設ノ請願 會議
- 第二十五 漁村金融ノ改善ニ關スル請願 會議
- 第二十六 漁村指導技術員設置助成ノ請願 會議
- 第二十七 漁村組合指導機關充實ニ關スル請願 會議
- 第二十八 水產物運賃低減ノ請願 會議
- 第二十九 水產物輸出増進ノ請願 會議
- 第三十 鮭鱒ノ基本調査並増殖施設ニ關スル請願 會議

○議長(公爵近衛文麿君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

去ル二日採擇スルコトヲ議決シタル義務教育費國庫支辨ニ關スル請願外十四件ノ請願ハ各、意見書ヲ附シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願委員會特別報告第三號

一昨三日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

軍用電氣通信法案可決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

旭川市舊土人保護地處分法案

臺灣事業公債法中改正法律案

臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案

○議長(公爵近衛文麿君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、日程第一、旭川市舊土人保護地處分法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、山本内務大臣

旭川市舊土人保護地處分法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和九年三月三日

衆議院議長 秋田 清

貴族院議長 公爵近衛文麿

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

昭和七年法律第一號中改正法律案

滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案

大藏省預金部特別會計法中改正法律案

鐵道敷設法中改正法律案

本日第八部ニ於テ決算委員中村純九郎君ノ補闕選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果水野鍊太郎君當選セリ

旭川市舊土人保護地處分法案

旭川市舊土人保護地處分法案

第一條 北海道廳長官ハ舊土人保護ノ目的ヲ以テ旭川市ニ貸付シタル同市所在ノ土地ヲ内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ經テ特別ノ緣故アル舊土人ニ單獨有財產又ハ共有財產トシテ無償下付スルコトヲ得

第二條 北海道舊土人保護法第二條第一項ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ下付シタル土地ニ付之ヲ準用ス

第三條 第一條ノ規定ニ依ル土地所有權ノ取得ニ關シテハ登録稅ヲ課セズ又地

官報號外 昭和九年三月六日 貴族院議事速記録第二十三號 議長ノ報告 會議 旭川市舊土人保護地處分法案 第一讀會

方稅ヲ課スルコトヲ得ズ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル)

○國務大臣(男爵山本達雄君) 旭川市舊土

人保護地處分法案提出ノ理由ヲ説明イタシマ

ス、旭川市所在ノ國有地約四十二萬八千坪

ハ、明治二十七年以來同地所在舊土人保護

ノ爲ニ存置セラレタモノデアリマシテ、明

治三十九年ニ至リ之ヲ旭川市ニ貸付シ、同

市ヲシテ其一部ヲ在住舊土人ニ耕作セシ

メ、他ノ部分ハ之ヲ和人ニ轉貸セシメ、其

得タル收入ヲ以テ舊土人ノ救護ト生活上

ノ施設ニ充當セシメ來タデアリマス、然

ルニ舊土人保護ノ趣旨ヨリ見マスルモ、又

國有地處理ノ上ヨリ致シマスルモ、今後永

ク本地ヲ斯カル取扱ノ儘ニ置キマスルコト

ハ適當デゴザリマセヌノデ、今回之ヲ同地ニ

特別ノ緣故ヲ有スル在住舊土人ニ無償下付

セムト致スデアリマス、而シテ其下付ノ

方法ニ付キマシテハ、本地中從來舊土人ガ

使用シテ居リマシタ一戸當リ一町歩内外、

合計約五十町歩ノ土地ハ直接舊土人各戸ニ

讓與スルト共ニ、他ノ土地ハ其現況ヨリ見

テ、之ヲ分割下付セザルコトガ適當デア

ト認メ、之ヲ右舊土人ノ共有財産トシテ讓

與シ、北海道長官ヲシテ之ヲ監視ニ當ラン

メ、其收益ハ之ヲ舊土人保護ノ爲メ使用セ

シムル見込デアリマス、又右下付處分ニ當

リマシテハ、特ニ舊土人ノ本地所有權ノ

取得ニ際シテモ、國稅並地方稅ヲ免除スル

ト共ニ、其下付後ニ於キマシテハ、舊土人

ノ保護ノ見地ヨリ、從來北海道内ニ於ケル

北海道舊土人保護法ニ依リ下付シタ土地

ト同様ニ、其所有權ニ相當ノ制限ヲ加フル

コトニナクデアリマス、以上ハ本法律案

提出ノ理由ノ大要デアリマス、何卒御審議

ノ上、御協贊アラムコトヲ御願ヒ申シマス

○議長(公爵近衛文麿君) 別ニ御質疑ガナ

ケレバ、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗

讀ヲ致サセマス

(瀬古書記官朗讀)

旭川市舊土人保護地處分法案特別委員

公爵島津 忠承君 伯爵柳原 義光君

子爵野村 益三君 男爵北大路實信君

男爵松平外與麿君 竹越與三郎君

安立 綱之君 板谷 宮吉君

大和田健三郎君

○議長(公爵近衛文麿君) 日程第二及第三

ハ、之ヲ一括シテ議題トスルコトニ御異議

ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 日程第二、臺灣

事業公債法中改正法律案、政府提出、衆議

院送付、第一讀會、日程第三、臺灣官設鐵

道用品資金會計法中改正法律案、政府提出、

衆議院送付、第一讀會、高橋大藏大臣

臺灣事業公債法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議

院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和九年三月三日

衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵近衛文麿殿

臺灣事業公債法中改正法律案

臺灣事業公債法中左ノ通改正ス

第一條中「酒專賣制度」ノ下ニ「若ハ粗製

樟腦及樟腦油製造事業」ヲ加ヘ「一億五千

二百萬圓」ヲ「一億五千四百六十萬圓」ニ

改ム

附則

本法ハ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法

律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議

院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和九年三月三日

衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵近衛文麿殿

臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法

律案

臺灣官設鐵道用品資金會計法中左ノ通改

正ス

第一條 鐵道及自動車交通事業ノ用品ヲ

購入貯藏シ臺灣官設鐵道ノ運輸營業及

建設事業並官設鐵道ニ關聯シ經營スル

自動車交通事業ノ需用ニ應スル爲臺灣

官設鐵道用品資金ヲ置キ特別ノ會計ヲ

立テシム

第三條中「臺灣官設鐵道所屬」ノ下ニ「又

ハ自動車交通事業所屬」ヲ加フ

第四條中「鐵道用品ノ製作」ヲ「鐵道及自

動車交通事業ノ用品ノ製作」ニ改ム

第五條中「鐵道用品ノ賣拂價格」ヲ「鐵道

及自動車交通事業ノ用品ノ賣拂價格」ニ

改ム

附則

本法ハ昭和九年度ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣高橋是清君演壇ニ登ル)

○國務大臣(高橋是清君) 只今議題トナリ

ヲ致シマス、臺灣ニ於キマス樟腦專賣事

業ニ關シマシテハ、其合理化ヲ圖ルガ爲ニ

粗製樟腦及樟腦油ノ製造ヲモ亦之ヲ官營ト

スルノ必要ガアリマスノデ、之ガ爲ニハ現

ニ該事業ヲ致シテ居ル者ニ對シマシテ、事

業廢止ニ伴ヒマス三百四十萬餘圓ノ限度ニ

於キマシテ、補償金ノ交付ヲ要スルノデア

リマス、此交付金ハ時價ニ依ッテ公債ヲ交付

スルコトト致シマスノデ、公債額面三百四

十七萬餘圓ヲ發行シ得ルノ必要ガアルノデ

アリマス、然ルニ現行臺灣事業公債法ニ於

キマシテハ、未ダ該目的ノ爲ニ公債ヲ發行

シ得ル旨ノ規定ガナイノデアリマス、又現

行法定額ノ發行餘力ハ九十七萬餘圓ニ過ギ

マセヌノデ、ソレ故右交付公債ノ發行ヲ爲

シ得ルコトト致ス爲ニ、本法律案ヲ提出イ

タシタル次第デアリマス、又議題第三ノ臺

灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案、

提出ノ理由ヲ説明イタシマス、臺灣ニ於テ官

設鐵道ニ關聯シテ經營スル自動車交通事業

ノ用品ノ購入貯藏ハ、之ヲ臺灣官設鐵道用

品資金會計ニ於テ經營スルヲ適當ト存ズル

ノデアリマス、ソレデ本法律案ヲ提出イタ

シタル次第デアリマス、何卒御審議ノ上、右

兩案トモ御協贊ヲ與ヘラレムコトヲ願ヒマ

ス

○議長(公爵近衛文麿君) 別ニ御質疑ガナ

ケレバ、特別委員ノ氏名ヲ朗讀イタサセマ

ス

(瀬古書記官朗讀)

臺灣事業公債法中改正法律案外一件特別

委員

侯爵佐竹 義春君 子爵新庄 直知君

子爵戸澤 正巳君 男爵園田 武彦君

宮田 光雄君 赤池 濃君

菊池 恭三君 三橋 彌君
濱口儀兵衛君

○議長(公爵近衛文麿君) 日程第四ヨリ第七マデノ法律案ハ、之ヲ一括シテ議題トスルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(公爵近衛文麿君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵近衛文麿君) 日程第四、昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、第五、昭和七年法律第一號中改正法律案、第六、滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案、第七、大藏省預金部特別會計法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、高橋大藏大臣

昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和九年三月三日
衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵近衛文麿殿
昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

第一條 政府ハ昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲他ノ法律ニ依リ起債シ得ル金額ノ外六億六百九十萬圓ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

第二條 政府ハ昭和九年度一般會計歳出豫算翌年度繰越額ノ財源ニ充ツル爲他ノ法律ニ依リ起債シ得ル金額ノ外昭和

官報號外 昭和九年三月六日 貴族院議事記録第二十三號

十年度ニ於テ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得但シ前條ノ規定ニ依ル公債又ハ借入金ト通ジテ前條ノ制限額ヲ超ユルコトヲ得ズ

第三條 前二條ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ前二條ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年法律第一號中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和九年三月三日
衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵近衛文麿殿
昭和七年法律第一號中改正法律案
昭和七年法律第一號中左ノ通改正ス
「四億九千百萬圓」ヲ「六億五千十萬圓」ニ改ム

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

參照
昭和七年法律第一號ハ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律ナリ

滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和九年三月三日
衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵近衛文麿殿

滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案
滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲政府ハ額面五千萬圓ヲ限リ公債ヲ發行スルコトヲ得

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大藏省預金部特別會計法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和九年三月三日
衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵近衛文麿殿
大藏省預金部特別會計法中改正法律案
大藏省預金部特別會計法中左ノ通改正ス
第二條中「事務取扱費」ノ下ニ「營繕費」ヲ加フ

附則
本法ハ昭和九年度ヨリ之ヲ施行ス

○國務大臣(高橋是清君) 只今議題トナリマシタ昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、提出ノ理由ヲ説明イタシマス、昭和九年度一般會計ニ於テ、既ニ成立イタシテ居リマス公債法ニ依リ、公債ヲ募集スル金額並ニ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲發行ヲ要スル公債金額ノ外ニ、歳入ノ不足ヲ補填スル爲メ、六億六百八十餘萬圓ノ公債ノ發行ヲ必要トスルコトハ、曩ニ昭和九年度總豫算ノ大要ヲ説明イタシマシタ際ニ申述ベテ置イタ通リデアリマス、其發行ノ爲ニハ新ニ起債ノ權能ヲ得ルコトガ必要デアリマス、昭和九年度ノ歳出ニ於テモ、其内若干ノ金額ハ例

年ノ如ク翌年度ニ繰越サレル結果ニナルノデアラウト存ゼラレマスガ、其繰越額ノ財源ハ必シモ九年度内ニ起債スルコトヲ必要ト致シマセヌ爲メ、翌年度ニ於テ募債シ得ルコトト爲スヲ適當ト致シマス、右ノ理由ニ依リマシテ、本法法律案ヲ提出イタシタル次第デアリマス、日程第五ノ、昭和七年法律第一號中改正法律案提出ノ理由ヲ説明イタシマス、滿洲事件ニ關スル經費ニ關シマシテハ、去ヌル第六十一回、第六十二回及第六十四回帝國議會ニ於テ、其財源ニ充ツル爲メ公債ヲ發行スルコトヲ得ル法律ノ成立ヲ見マシテ、之ニ依ツテ本年度マデノ經費ヲ支辨シ得ル次第デアリマスガ、昭和九年度分ノ經費トシテ、更ニ約一億五千九百十餘萬圓ヲ必要トスルノデアリマス、サウシテ今日ノ財政ノ狀況並ニ本經費ノ性質ニ鑑ミマシテ、從來ノ如ク之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマシタ爲ニ、現行滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律中ノ發行限度ヲ、改正増加スルノ必要ガアリマスノデ、本法法律案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、日程第六、滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案ノ提出ノ理由ヲ説明イタシマス、昭和六年以來ノ滿洲事件ニ關シ、功勞ガアリマシタ陸海軍軍人等ニ對シマシテハ、此際恩賞トシテ適當ノ一時賜金ヲ賜與セララルコトヲ必要ト考ヘマス、是等一時賜金ハ總額約五千四百六十餘萬圓デアリマシテ、此内四千八百七十餘萬圓ハ公債證書ヲ以テ交付スルコトト致シマスル爲ニ、公債ノ發行ヲ要シマス、而シテ右公債ハ時價ニ依リ交付スルヲ安當ト認メマシタノデ、發行總額五千萬圓トシ、本案ヲ提出イタシマシタ次第

第一讀會 二六一

昭和九年三月三日 衆議院議長 秋田 清

貴族院議長公爵近衛文麿殿

鐵道敷設法中改正法律案

鐵道敷設法中左ノ通改正ス

別表第五十號ノ三ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

五十ノ四 埼玉縣大宮ヨリ川越ヲ經テ

飯能附近ニ至ル鐵道

別表第五十號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

百五ノ二 高知縣須崎ヨリ窪川ニ至ル

鐵道

別表第十號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

百十ノ二 福岡縣添田ヨリ大分縣日田

附近ニ至ル鐵道

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣(三土忠造君) 只今上程サレマ

シタル鐵道敷設法中改正法律案ノ提案ノ理

由ヲ簡單ニ申上ゲマス、今回鐵道敷設法ヲ

改正シテ、其別表ニ追加セムトスル線路

ハ、埼玉縣大宮ヨリ川越ヲ經マシテ飯能附

近ニ至ル鐵道、ソレカラ高知縣須崎ヨリ窪

川ニ至ル鐵道、及ビ福岡縣添田ヨリ大分縣

日田附近ニ至ル鐵道ノ三線路デゴザイマ

ス、大宮・飯能附近間ノ鐵道ハ、八王子ヨ

リ高崎ニ通ズル所謂八高線ノ一部、東飯

能・八王子間、及ビ横濱線八王子・東神奈川

間ノ各既成線ト相俟ツテ、東京ヲ包ム環狀

線ヲ構成イタシ、東北、中央、東海道ノ諸

本線ヲ聯絡イタシマスルカラ、一朝有事ノ

際ニ於ケル國防上ノ效果ハ大ナルモノガア

ルノデゴザイマス、是ト共ニ是等諸線相互

間ノ輸送ニ、東京ヲ迂廻スルノ不便ヲ除キ

マシテ、東京附近ニ輻湊スル輸送ヲ緩和

シ、運輸系絡上ヨリモ誠ニ緊要ナル線路デ

アルノデアリマス、須崎・窪川間鐵道ハ、

沿線ノ海陸物資ノ搬出ニ利便ヲ與ヘ、地方

産業ヲ開發イタシマスルノミナラズ、既成

高知線及ビ十年度全線開通豫定ノ土讚線ノ

培養線トナルノデアリマシテ、尙ホ亦將來

ニ於ケル四國循環線ノ一部ヲ構成イタシマ

スル主要ナル線路デゴザイマス、添田・日

田附近間ノ鐵道ハ、沿線ノ炭田、森林ヲ開發

來此政治上デ最モ寒心シテ居ル所ノ、最大

關心事ト云フモノハ何デアアルカト云フト、

此思想問題デアアルノデアリマス、思想問題

ト申シマスルノハ結局人心ガ、左右兩極

ニ走ルコトヲ憂ヘルコトデアリマシテ、

何デ人心ガ左右兩極ニ走ルカト云フノ

ニ、是ハ現在ノ世情ニ憐リナイカラデア

ルデアリマス、其憐リナイモノト云フノハ

何デアアルカト云フト、最モ甚シイモノハ政

黨ノ不信用、政治ノ濁濁竝ニ分配ノ不均衡

ト云フ點ニ歸スルノデアリマス、分配ノ不

均衡ヲ憤ル者ハ財界人ノ跋扈ヲ憎ミ、政治

ノ濁濁ヲ憤ル者ハ政黨ノ跳梁ヲ恨ム、斯様

ニシテ或ハ獨裁政治ヲ望ムトカ、或ハ均一

分配論ニ耳ヲ傾ケルニ至ルノデアリマス、

是ハ如何ニ文部大臣ヲ責メテ、教育ヲ以テ

之ヲ改善シロト云ウテモ、生活ニ即シテ教

ヘル所ノ實物教育ニ依ツテ斯ウ云フ結果ヲ

招クノデアリマスカラ、ドウシテモ政治ヲ

清淨ニシ、財界ノ人ガ自ら願ミテ制約スル

所ガナケレバ駄目ダト、斯ウ考ヘルノデア

リマス、私共ハ現在ノ政治機構、經濟機構

ニ急激ノ變更ヲ加フルト云フコトハ社會ノ

利益デナイト考ヘル、デアリマスルカラシ

テ翼クハ政黨ノ人モ、財界ノ人モ、共ニ此

點ニ鑑ミラレテ制約ヲ加ヘラレムコトヲ望

ムコトハ、問フニ違フナク、又政治ハ裁判所デ

裁判スルノト違ヒマシテ、證據ノ問題デナ

イ、人心ニ與ヘル所ノ認識ガ對象デア

ル、認識ガ誤ツテ居ルトカ誤テ居ナイトカ云フ

コトハ、問フニ違フナク、先達

テ佛蘭西デ大事件ヲ起シマシタ「バイヨン

ヌ」ノ詐欺犯人ガ、果シテ警官ニ殺サレタ

ノカ、自殺デアッタノカト云フヤウナコト

ハ、是ハ今ノ所ハ知ル由ハナイノデア

ル、

〔青木周三君演壇ニ登ル〕

○青木周三君 私ハ只今上程セラレマシタ

ラレタニ付キマシテ、此機會ヲ以テ、鐵道

政策ニ關シ、二三ノ質疑ヲ鐵道大臣及總理

大臣ニ致シタイト考ヘタノデアリマスガ、

生憎本日ハ總理大臣ハ午前中文部大臣ノ引

繼ラシテ居ラレテ、引續キ何等カノ事故ガ

アラレルサウデゴザイマスルカラシテ、遺憾ナ

ガラ總理大臣ニ對スル分ハ留保イタシマシ

鐵道敷設法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議
院法第五十四條ニ依リ及送付候也

○議長(公爵近衛文麿君) 日程第八、鐵道
敷設法中改正法律案、政府提出、衆議院送
付、第一讀會、三土鐵道大臣

侯爵松平 康昌君 子爵舟橋 清賢君
子爵綾小路 護君 男爵井田 馨楠君
男爵深尾隆太郎君 菅原 通敬君
西野 元君 佐々木八十八君
澁澤 金藏君

○議長(公爵近衛文麿君) 御質疑ガナケレ
バ、特別委員ノ氏名ヲ朗讀イタサセマス
〔小林書記官朗讀〕

昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル
爲公債發行ニ關スル法律案外三件特別委
員

生ズルコトヲ豫想セラレマスルノデ、本法
律案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、以上
各案、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ
希望イタシマス

新營業ニ付テハ、之ガ財源ヲ負擔セシムル
ヲ妥當ト認メ、其所要金額ヲ一般會計ニ繰
入ルルコトヲ致シマシタ、且ツ同會計ノ事
業ノ狀況ニ鑑ミマシテ、將來新營業ノ必要ヲ

アリマス、日程第七ノ大藏省預金部特別會
計法中改正法律案、提出ノ理由ヲ説明イタ
シマス、大藏省預金部特別會計ノ事業ノ發
展ニ伴ヒマシテ、其事業遂行上必要ナル營
繕ハ、之ヲ同會計ノ負擔ニ於テ爲サシムル
ヲ適當ト考ヘルノデアリマシテ、別途昭和九
年度豫算ニ計上シテアリマスル大藏省廳舎
新營業ニ付テハ、之ガ財源ヲ負擔セシムル
ヲ妥當ト認メ、其所要金額ヲ一般會計ニ繰
入ルルコトヲ致シマシタ、且ツ同會計ノ事
業ノ狀況ニ鑑ミマシテ、將來新營業ノ必要ヲ

併ナガラ其結果トシテ起ツタ所ノ大事件ハ、内閣ヲ二ツモ倒シ、又數百人ノ死傷者ヲ巴里ノ街で見ルト云フヤウナコトガ起ツタノデアアル、デアリマスルカラシテ事實ガアルトカ無イトカ云フコトハ、恐ラクハ問題ニナラナイデ、政治上ノ結果ハ或ハ現ハレテ來ルノデアリマス、デアリマスルカラシテ政治ニ當ル方ハ、ソレガ政界ノ、政治上ノ瀾濁デナイト云フコトヲ明カニ示シ、若シ左様ナ疑ヲ招クヤウナ事件ニ係ル時ニハ、慎重ニ考慮セラレテ、先以テ左様ナ疑ガナイヤウニ計畫セラレレコトガ、最モ必要ナコトデアルト私共考ヘル、今日質問イタシマスルノモ、政府ニ左様ナコトデナイト云フコトノ機會ヲ與ヘタイ、ト云フノガ私ノ心望デアリマス、私ハ此財界ノコトハ詳シク存ジマセヌ、屢、問題ニナリマシタケレドモ分ラヌ場合ガ多イ、此點ニ付テハ姑ク措キマシテ、鐵道ガ政黨ノ利益、政黨ノ策略ト云フモノニ利用セラレルト云フコトヲ常ニ憂ヘテ居ルノデアリマス、デ敢テ此場合ニ鐵道大臣ニ質問イタシマシテ、斯ウ云フ今回ノ鐵道政策ガ黨利黨略ニ基クモノデナイト云フコトヲ、明カニシテ戴キタイト思フ今日質問ヲ致ス所以デアリマス、三土鐵道大臣ガ其職ニ就カレテカラ其政策ヲ拜見シテ居リマスト云フト、從來黨利黨略ノ爲ニ禍サレテ鐵道ノ建設ガ甚シク總花主義トナリマシタ放漫デアツタ所ノ建設政策ヲ改メテ、建設集中主義ト云フモノヲ執ラレマシテ、從來豫算ニ計上シテアル所ノ建設線ノ中デモ、鐵道政策上不利益ナモノト思ハレレモノハ、之ヲ或ハ延期或ハ殆下止メルノデアナイカト思フマデ後ヘ下テラレテ、サウシテ中デ重要ナル又既

ニヤラナクチヤナラナイ状態ニ至ツテ居ル所ノ線路ハ、ドシノト完成年度ヲ線路上ゲラレルト云フヤウ方針ヲ執ラレマシテ、又建設線ガ打切ラレタリ遅延シタリスル所ニ對シテハ、鐵道省自營ノ乗合自動車ヲ運行スルト云フヤウナ政策ヲ執ラレマシテ、是ハ私共ガ常ニ望ムデ居ツタ所ノ政策ヲ最モ勇敢ニ施行セラレタノデアリマシテ、三土君ニ對シテ多大ノ信頼ト多大ノ尊敬ヲ拂ツテ居ル者デアリマス、此内閣ハ此政黨ノ不信用ヲ恢復シテ、大イニ政治ノ瀾濁ヲ淨メヤウト云フコトヲ一枚看板立タレタ、此際ニ三土君ガ鐵道大臣トナラレタコトハ、我々ハ頗ル喜ンデ居リマス、昨年ノ議會ニ提出セラレタル案ヲ拜見シマスルト云フト、甚ダ小サナ問題ニハ稍、其臭ヒノスルモノガ無イデモアリマセヌデシタケレドモガ、大體ニ於キマシテハ、頗ル眞面目ナ案デアリマシテ、大イニ三土君ヲ援ケテ其政策ヲ成サシメヤウト考ヘテ居ツタノデアリマス、然ルニ今年ノ議會ニ提出セラレタモノハ、前年ト大イニ異リマシテ、傳統的黨略第一主義ヲ反映シタノデハナイカト思ハセルヤウナモノガ非常ニ多イ、三土君モ人間デアリマスルカラシテ、理性方面ト、感情方面ヲ持ツテ居ラレコトハ已ムヲ得ヌデアリマス、三土君ハ昨年ニ於キマシテハ、非常ニ三土君ノ理性ガ働イテ、我々ニ尊敬ヲ拂ハセルヤウナ案ヲ提出セラレマシタケレドモガ、本年ニ於キマシテハ大イニ其ノ理性ガ、感情ノ爲ニ蔽ハレタノデヤナイカト云フヤウナ疑ヲ懷カザルヲ得ナイノデアリマス、若シ果シテ吾輩ガ憂慮シテ居ル通りニ、此鐵道ニ關スル所ノ諸政策ガ果シテ國家ヲ第二義トシテ、

政黨ヲ第一義トスルト云フヤウナコトガアツトスルナラバ、是ハ本員ノ……重大問題デアリマス、私ハ議員ト致シマシテモ、又官吏トナツタ場合ニ於キマシテモ、常ニ此鐵道、國家ノ公器ガ黨利黨略ノ爲ニ左右サレルトヲ憤慨イタシマシテ、有ユル場合ニ於キマシテ、ソレニ對シテ反抗シテ來タモノデアリマス、今日此疑ヲ懷クニ至リマシタモノデアリマスカラシテ、鐵道會議ニ於キマシテモ、又今日諸君ヲ煩ハシテ此ノ質問ヲ聽イテ載ク所以デアリマス、此場合ニ於キマシテ鐵道ノ豫算ノコトヲ、大體ヲチヨット申上ゲテ置カクチヤナラヌト思ヒマスガ、鐵道ノ建設費ハ今マデ、本年度カラハ……四千萬圓ツツデアツタノガ、今度三土鐵道大臣ハ九年度、十年度、十一年度ト三箇年度ニ各八百萬圓、合計二千四百萬圓ト云フモノヲ増サレマシテ、サウシテ八線ノ……八ツノ線ノ建設計畫ヲ爲サレタノデアリマス、御手許ニ配付シテ居リマスル所ノ地圖中ニ、青イ線ヲ以テ表ハシタ線ハ其八ツニ當ルノデアリマス、現在我國ニ於キマシテハ國難ノ時デアツテ、政府ノ事業ニ夥シイ費用ヲ要スル時デアアル、之ガ爲ニハ多額ノ赤字公債ヲ發行シテ行カタクチヤナラヌ状態ニナツテ居ル、此公債ノ發行額、公債ノ消化力ニ限度ガアル爲ニ、サウサウハ赤字公債ヲ發行スルコトハ出來ヌト云フコトカラシテ、海軍ニ於キマシテモ、陸軍ニ於キマシテモ、農林省ニ於キマシテモ、悉ク不滿ナル所ノ數字ヲ以テ豫算ヲ組立テナケレバナラヌ所ノ時代デ、鐵道ハ必シモ、イツカ或議員モ言ハレマシタガ、二年十三年度鐵道ガチヨットモ延ビナカッタカラト云ツテモ、國家ハ大シタ危機ニ迫ルモ

ノデハナイ、然ルニ此際ニ當ツテ二千四百萬圓ト云フ多額ノ資金ヲ投ジテ、新シイ線路ヲ計畫スル所ノ必要ガアルカト云フコトヲ私ハ第一ニ疑問ニ思ヒマシタ、此點ニ關シテ鐵道會議ニ於キマシテハ鐵道大臣ニ質問シマシタ、併ナガラ言葉ノ行違デアツタカ、鐵道大臣ノ答辯ハ頗ル要領ヲ得ナイノデアリマシテ、此八百萬圓ト云フモノハ、鐵道省ノ共濟組合ノ金デ以テ應募スルノデアアル、市場ニ對シテ壓迫ヲ加ヘナイノデアアルカラシテ、ソレデ此公債ヲ發行スルコトニシタノデアルト云フ御答辯デアリマシタ、併ナガラ私ノ聽カムト欲スル所ハ、何故ニ其公債ノ財源ヲ、他ノ方面ノ必要ナモノニ振向ケナイカト云フコトガ聽キタカツタノデアリマス、鐵道省ノ、國有鐵道ノ純益金ト云フモノハ、一時ハ一億數千萬圓ニ上ボツテ居ツタ程デアリマシタケレドモ、此打續ク不景氣ノ爲ニ頗ルソレガ減少イタシマシテ、稍、回復シマシタ九年度ノ豫算ニ於テモ、僅ニ六千萬圓程度ニ過ギナイノデアアル、此六千萬圓ノ中ニハ約三千萬圓位ト云フモノハ、是ハドウシテモ營業費ニ近イ所ノ改良費ニ掛ケナクチヤナラヌモノデアアル、デアリマスカラシテ是ハ營業費ト見ルノガ當リ前デアアル、サウスルト殘リハ僅カ三千萬圓シカ無イノデアリマス、一年ニ四千八百萬圓ツツ増スト致シマスト云フト、其利子ダケガ二百四十萬圓、尙ホカケル所ノ鐵道ハ、甚シク不利益ナ線デアリマスカラシテ、ソレデ損ヲスルモノガ相當ニナクチヤナラヌ、サウシマス、三三萬圓ト云フモノハ損ガ年々積ツテ行ク譯デアアル、今ノ鐵道豫算ハ稍、十年、昭和十六年度位マデ掛カルノデアリマスガ、此鐵道

豫算ガ全部使ヒ切ル頃ニハ益金ガ一文モ無クナルト云フ勘定ニナラザルヲ得ナイノデアリマス、誠ニ現今ノヤウナ不景氣ハ、是ハ常態デアリマス、或ハモット回復スル時ガアルデアラウト考ヘマスルケレドモ、併ナガラ此鐵道ノ收益率ト云フモノハ決シテ樂觀ヲ許サナイノデアリマス、又現在我が國ニ於キマシテハ十七億圓ニ餘ル所ノ私設會社ガアルノデアリマス、此十七億圓ト云フ國家ノ資本ガ私設鐵道ニ固定シテ居リマシテ、サウシテ其中僅カナガラデモ配當ヲシテ居ルモノハ約二割ニ過ギナイノデアアル、後ノ八割ト云フモノハ全部無配當デアアル、斯様ナ状態デアリマス、是ハ私設鐵道ノコトデアリマスケレドモ、私設鐵道ノ監督、免許、總テ政府ガ之ニ當ツテ居リマシテ、サウシテ鐵道ハ國有トスベキコトヲ原則トシテ鐵道國有法ニ定メテアル、法律ヲ以テ定メテアル、是等ノ鐵道ハ是ハ私設鐵道デアツテ、株主ガ馬鹿ナコトヲシタノダカラハ己ムヲ得ヌト言ツテ、政府ハ之ヲ對岸ノ火災ノヤウナ額ヲシテ見テ居ル譯ニハ、恐ラクハ行カヌコトト思フ、是ダケノ大キナ資本ガ何等ノ配當モスルコトガ出來ズニ困ツテ居ル状態ヲ、政府ガ見テ居ル譯ニハ到底行カヌコトニナラダラウト思フ、何等カノ形ニ於テ國庫、即チ此國有鐵道ノ負擔ニナラザルヲ得ナイト思フテ居リマス、現ニ今年度ノ豫算ニ於テ七百三十萬圓ノ補助金ヲ與ヘテ居リマスケレドモ、七百三十萬圓位ノ補助金デハ濟マナイ、恐クハ何等カノ形デ此鐵道ノ始末ヲ付ケテヤラナケレバナラヌ時代ガ來ルノダラウト私ハ考ヘルノデアリマスカラシテ、此鐵道ニ長官トナル所ノモノハ、決シテ放漫ナル政策ヲ以テ

之ニ臨ムト云フコトハ、許サレナイ状態ニアルト云フコトヲ御考ヲ願ハナクチヤナラヌノデアリマス、次ニ此建設線ニ付テ少シク詳細ニ互ツテ説明ヲ致シマシテ、質疑ヲ致シタイト思フテ居リマス、今度提出セラレマシタ所ノ八線ハ、只今地圖ヲ申上ゲマシタ通りニ北海道、本州、九州、四國ニ互リ、此青い線ノ八ツデアリマスルガ、其中デ北海道ニ於キマシテ、浦川、様似ト云フ所ハ、是ハ誠ニ結構ナ線、是ハ問題デアリマセヌ、ソレカラ九州ニ於キマシテ、一番南ノ所ニアリマス指宿ト云フ所カラ山川ト云フ所、是ハタツク一哩ニ足りナイ所ノ線路デアリマシテ、是モ結構ナ計畫デアリマシテ、是モ問題デアリマセヌ、ソレカラ只今上程シテアリマスル所ノ敷設法改正ニ載ツテ居ル所ノ、東京附近ノ大宮カラ飯能ニ行ク所ノ此線路ハ、是ハ軍部ノ要求デアリマシテ、東京ニ入ラズニ、東北カラ東海道、東海道カラ東北ニ行ク線ガ是非必要ダト云フコトデアリマス、是モ長イコト軍部ガ要求シテ居ル所ノ線デアリマス、鐵道會議ニ於キマシテハ、此線ニ對シテモ屢々議論ガアリマシテ、甚ダ不必要デアルト云フ意見ヲ懷ク人モアリマシタ、併ナガラ是ハ今日私ガ問題ニセムト欲スル所ノ線デアリマセヌ、デアリマスルカラシテ之ヲモ除キマス、残りノ五ツノ線ト云フモノガ悉ク私共ガ不可解、分ラナイ所ノ問題ヲ包ンデ居ル所ノ線デアリマス、其中デ第一番ハ北海道ノ北ノ方ニアリマスル名寄カラ朱鞠内ト云フ所ニ行ク所ノ線デアリマス、ソレカラ第二ハ福島縣ノ柳津ト云フ所カラ川口ニ至ル所ノ線、ソレカラ新潟縣ノ小出ト云所カラ只見ト云フ所ニ

至ル線、是ハ元ト豫定線デハ福島縣ノ柳津カラ小出ニ至ル所ノ一ツノ線デアアル、ソレヲ今回ハ間ヲ切ツテ、サウシテ二ツノ線トシテ出サレタノデアリマス、ソレカラ第四ハ九州ノ添田カラシテ日田附近ニ至ル所ノ線デアリマス、第五ハ四國ノ須崎カラ窪川ニ至ル所ノ線デアリマス、之ヲ見マスルト云フト、北海道、關東、東北、四國、九州ト云フヤウニ整然トシテ分布セラレテ居ルコトガ御分リニナルデアリマセウ、是ハ政黨ノ黨勢上非常ニ必要ナコトデアリマスト見エマシテ、先年小川鐵道大臣ガ鐵道ノ大買収案ヲ提出セラレタコトガアリマス、其時ニ本議場ニ於キマシテ、私ハ此案ヲ定メル標準ハ何處ニ置イタノデアアルカ、鐵道ヲ買収スル標準ハ何處ニ置イタノデアアルカト云フコトヲ聽キマシタ所ガ、小川鐵道大臣ハ分布ヲ一ツノ標準トシタト、斯ウ云フコトヲ率直ニ答ヘラレタノデアアル、私ハ私設鐵道全部ヲ國有ニ買収スルト云フ大方方針ガ定マツタ上ナラバ分布ト云フコトモ必要デアアル、併ナガラ鐵道ノ系絡上私設鐵道ノ買収ヲ必要トスルト云フコトデアラナラバ、分布ニ拘ハツテ居ルコトハ出來ナイ、デアアルカランシテ此分布ニ重キヲ置ク所ノ案ハ、必ズヤ政黨ノ統制ノ爲ニ必要ニナルカラヤツタノデアラウト考ヘマシテ、極力其案ニ付テ質問モ致シマスルシ反對モ致シマシテ、力ヲ極メテ之ヲ排撃イタシマシタ、幸ヒニ本院ノ諸公ノ考モ私ノ考ト同一デアッタト見エマシテ、此委員會ニ於キマシテハ、此案ヲ、政黨政策ニ基カズ、鐵道政策ニ基イテ修正シタ、サウシテ之ヲ衆議院ニ送リマシタ所ガ、分布ヲ破ラレタ所ノ鐵道政策ヲ受入レルコトハ出來ナカッタ、ソレデ遂ニ此案

ハ不成立ニ終ツタコトハ諸君ノ御記憶ニ新ナル所デアラウト思フ、又先年床次氏ガ鐵道大臣ニナラレマシタ時ニ、私ドモ鐵道ニ關係ノアツタモノヲ政府ニ呼バレマシテ、今度モ鐵道買収ヲシタイト思フガ、如何ナル線ヲ買収シタラ宜カラウカト云ツテ御相談ガアツタ、其時ニ私共ハ鐵道政策、鐵道カラ見ル所ノ買収ヲ必要トスル所ノ案ヲ二三進言ヲ致シマシタ、後ニ床次氏ハ其買収案ガ出來タカラト云ツテ示サレマシタモノヲ見マスルト云フト、我々ノ進言ヲ致シマシタ所ノモノヲ取入ラレタアツタ、併ナガラソレハ分布ニ拘ハツテ居ラレタノデアリマサルカラシテ、或ハ北海道ヲ加ヘ、或ハ九州ヲ加ヘルト云フヤウニシテ分布ヲ整ヘラレタ、之ニ對シテ斯様ニ分布ヲ主トシタ所ノ鐵道買収案ニ對シテハ、之ヲ支持スルコトハ御免ヲ蒙ルト申上ゲタコトガアリマス、併ナガラ床次氏ハ内閣ノ更迭ト共ニ罷メラレマシテ、其案ハ廢棄セラレタノデアアル、此度斯様ニ三土君ガ茲ニ提出セラレタル所ノ案モ正ニ此通りニ、此傳統ヲ追ウテ北海道、關東、九州、四國ト云フヤウニ分布サレタノデアリマス、是ハ眞最初ニ、如何ニモ何等カノ政黨統制ノ上ニ必要ガアリトセラレテ、拵ヘラレタモノデナイカト云フコトヲ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、昨年ノ議會ニ於キマシテハ、先程モ申上ゲマシタ通りニ三土君ハ、政黨ノ動キニ鑑ミル所ガアリマシテ、非常ニ慎シク案ヲ立テラレタト見エマシテ、私共カラ見マシテ昨年ノ提出セラレタ所ノ諸案ハ、最モ鐵道政策ニ即シテ立テラレタ所ノ案ダト考ヘテ居リマシタ、所ガ今申シマスル通りニ、鐵道政策ニ基イタ所ノ案ハ分布ニ拘ハツテ居ルコト

ガ出来ナイ、從テ分布ノ上カラハ甚シク不均一デアリマス、ソレデアリマシタ爲ニ是ハ黨ノ内部ニ於テ非常ナ問題ヲ起シマシテ、殊ニ福島縣地方ニ於テハ非常ニヤカマシカッタ、是ハ四圍ノ不平組ト俟テ相提携シタ爲ニ、殆ド三土君ノ鐵道案ノ運命スラ危ブマレルヤウナ状態ニ立至ッテデアリマス、ソレデ流石ノ三土鐵道大臣モ我ヲ折ッテ、遂ニ此黨略ニ聽カザルヲ得ナイヤウナ状態デ、此今年ノ案ガ出来タモノト推察スルノデアリマス、三土君ノ苦衷ハ察スルニ餘リアリマスルケレドモガ、政黨ガ國家ノ公器ヲ黨利黨略ノ爲ニ利用スルト云フコトハ、是ハ國民ノ公憤ヲ招ク所ノ基デアリマス、世人ハ動モスレバ官吏ガ金錢ノ爲ニ汚損セラレルコトヲ、綱紀問題トシテヤカマシク言ヒマスケレドモガ、最モ實害ノ多イノハ、政黨ガ公器ヲ濫用シテ黨略ノ具ニ供スルト云フコトデアアル、私ハ先程モ申シマスル通りニ、政黨ガ鐵道ヲ黨略ノ具ニ供スルト云フコトニ對シテ、官吏トシテモ、議員トシテモ、極力之ヲ拒ンデ居ルノデアリマス、若シ此案ガ斯様ナ疑ヲ持ッテ居ルモノデアアルナラバ、本院ハ決シテ此案ヲ通シテハナラヌコトダト私ハ考ヘルノデアリマス、以下モウ少シ詳細ニ互ッテ、各線ニ付テ鐵道大臣ノ御意見ヲ質シタイト思フ、第一ノ北海道ノ名寄・朱鞠内間約四十「キロ」バカリノ線デアリマスルガ、名寄ト申シマスルノハ地圖ヲ御覽ノ通りニ、稚内本線ノ中ノ主要ナ驛デアリマスルケレドモガ、固ヨリ北海道ノ小驛ノコトデアリマスルカラシテ大シタ都邑デアリマセヌ、朱鞠内ノ如キニ至ッテハ誠ニ人口ガドノ位アルカ知りマセヌガ、政府ノ言フ所ニ依リ

マスルト云フト、千人位ト云フノガドノ位ノ範圍ニ擴ガツテ居ルカ、極ク小村デアラウト思フノデアリマス、此線路ハ元ト名寄・雨龍間ト云フ線路デアリマシテ、小川鐵道大臣ノ時ニ議會ヲ通過シタ所ノ線デアリマスルガ、其後ニ濱口内閣ノ時ニハ、小川鐵道大臣ガ六十幾線ト云フ所ノ大建設案ヲ出サレタノヲ、斯ウ云フ風ナコトハ必要ナイト致シマシテ、其中二十八線ヲ削除イタシタ、其二十八線ノ中ノ一線デ、削除セラレタ所ノ一線デアアルノデアリマス、斯様ナ名寄ト云ヒ雨龍ト云ヒ、若クハ朱鞠内ト云フヤウナ小サナ村ヲ、鐵道デ以テ繋グト云フコトハ誠ニ意味ノナイコトデアリマス、交通ハ大體ニ於テ中央カラ地方ニ及ブダケデアリマス、誠ニ失禮ナ話デアリマスルガ、例ヲ東京ノ中ニ取りマシテ、例ヘバ日本橋ヲ中心ト致シマシテ、澁谷ト日本橋、及新宿ト日本橋ト、此二ツノ線ガアリマスルナラバ、是ハ中央カラ地方ニ至ル所ノ線デアリマシテ、放射線デアリマシテ、誠ニ繁昌スル所ノ線路デアラウト思フ、併ナガラサレバト云ツテ、新宿ト澁谷ヲ繋イダカラト云ツテ、此間ノ交通ハ恐ラク甚ダ微々タルモノデアラウト思フ、斯ウ云フコトハ誰ガ見テモ直グ分ルノデアリマス、又鐵道ハ道路トハ違ヒマシテ、各人ノ門ノ前、各人ノ畑ノ前マデ鐵道ヲ持ッテ來ルト云フ譯ニハ行カナイ、大體ニ於テ其鐵道ノ兩側ニ哩トカ三哩トカ、或ハ五哩トカ云フ勢力範圍ヲ定メテ、其間ノモノハ皆各驛ニ集ッテ行クト云フノガ大體ノ趣旨デアリマス、此地圖ヲ御覽下サイマシテモ、稚内本線ト雨龍線ト云フモノトハ、極ク接近シテ並行シテ居ル所ノ線デアリマス、是ハ地圖ヲ見マスルト云フト、

大體此距離ハ五里カ、廣イ所デ八里位ノ線、此中間ヲ取りマスルト云フト四里若クハ三里位ガ勢力範圍ト見ナクチヤナラス、此勢力範圍ヲ延バシテ行キマスルト云フト、今度新ニカケヤウト云フ所ノ名寄ト朱鞠内ノ線ト云フモノハ此勢力範圍ノ中ニ這入ル、斯様ナモノヲ新ニ北海道ノヤウナ廣漠ナ、マダ開通スベキ所ガ澤山アル中ニ持ッテ行ッテ、斯様ナ勢力範圍ノ中ニ再ビ一ツノ鐵道ヲ造ルト云フ必要ハナイ、政府ノ說明スル所ニ依リマスルト云フト、此雨龍線ヲ延バシタ所ニ炭鑛ガアル、炭鑛ト云ツテ石炭ノ露頭ガアルトカ、或ハ此處ニ大キナ、北海道水力電氣會社ガ大キナ貯水池ヲ拵ヘテ、其貯水池ノ水門ノ工事ヲスル爲ニ必要デアラウト思フ、サウ云フモノガ必要デアアルナラバ、其必要ノ所マデ延バシテ置ケバ名寄ト繋グ所ノ必要ハ一ツモナイ線ナデアリマス、或ハ此線ニ大學ノ演習林ガアツテ、移民ガ幾ラ居ルトカ、木材ガドレダケ出ルトカ云フヤウナコトガアリマスルケレドモガ、御覽ノ通りニ大體ニ於テ此兩方ノ勢力範圍ニ入ッテ行クノデアリマス、此雨龍、朱鞠内カラ大學ノ演習林マデ何里アルカ知りマセヌケレドモガ、北海道デハ五里ヤ八里鐵道カラ離レテ移民ガ入ルト云フコトハ普通ノ状態ナンデアリマス、是ニ持ッテ行ッテ此鐵道ヲカケルト云フ必要ハナイノデアリマス、斯様ナ線デアリマスルカラ、先年此鐵道ガ削ラレタ、削ラレテ見マスルト云フト、折角鐵道ガカカルト樂ンデ居ッテ此名寄ノ町民ハ甚シク失望シタコトハ、是ハ如何ニモ氣ノ毒ナ話デアリマスルガ、名寄ノ町民ハ甚ダ遺憾ニ思ッテ、一方ノ政黨ノ者ガ他ノ政黨ニ入黨スルト云フヤウナ状態

デ、是非此線ヲ豫算ニ計上シテ賞ヒタイト云フコトヲ、非常ナ運動ヲシタト云フコトハ、是ハ皆ガ知ッテ居ル事實デアリマス、併ナガラ斯様ナ價值ノ少イ所ノ線路ヲ、如何ニ政黨ニ入黨スルトカ……四百ヤ五百ノ黨員ヲ得タカラト云ツテ、之ヲマサカニ三土君ガ取上グル筈モナイノデアリマシテ、非常ニ大變ナ運動ヲシテ居リマシタケレドモ、容易ニ聽キ容ラレレナカッタ、是ハ何人モ知ッテ居ル事實デアリマスルガ、是ガ如何ニシテ斯ウ云フ風ニ計上セラレタカト云フコトハ、其裏面ノ消息ハ私共之ヲ知ル由ガアリマセヌガ、併ナガラ「北海道タイムズ」ト云フ地方新聞デハ……有力ナ新聞デアリマス、屈指ノ地方新聞デアリマスルガ、ソレニ依ッテ見マスルト云フト、其新聞ニ關係ノアル所ノ或黨派ノ領袖ガ三土君ニ頼ンデ、泣キ落シテ、サウシテ之ヲ入レタノデアアル、オ前達ノ運動ダケデハソシナモノハ利クモノヂヤナイト云フコトデ、遂ニ之ヲ人レタンドト云フコトヲ、三土君ノ寫眞其外ソレニ關係ノアル所ノ寫眞ヲ入レテ書イテアル、是ハ新聞ノ記事デアリマスルカラシテ、興味半分ニ書クコトモアリマセウシ、私共ハ一々是ガ事實デアルト云フノデアリマセヌガ、斯様ナコトヲ坊間デ言ッテ居ルコトト、今迄ノ事實ト照シ合シテ見ルト云フト、此線路ガ如何ニ鐵道政策ヲ離レタ必要カラ出来ルモノデアアルト云フコトヲ知ルコトガ出来ルグラウト思フ、第二ノ福島縣ノ柳津、川口間、第三ノ小出、只見間、此線路ニ付テモ私共ハ頗ル不可解ニ考ヘテ居ルノデアリマス、元ト此線ハ鐵道ノ豫定線デハ一本ノ線デアリマスルガ、先程モ申シマシタ通りニ、此中間ヲ切ッテ二ツノ線トシテ、

一方ハ福島縣ノ柳津カラ川口迄、一方ハ新潟縣小出カラ、福島縣ノ只見迄、此二ツノ線ニシテ提出セラレタノデアリマス、是ハ只今上程セラレテアル所ノ敷設法ニハ關係ガナイ、豫算ニノミ關係ノアル所ノ線デアリマス、此柳津、川口間ノ線路ノ如キモノハ鐵道省ノ調査書ニ依リマシテモ、北海道ノ名寄、朱鞠内ノ線ノ次ニ位スルホド一番惡イ線、内地デハ一番惡イ線、御承知ノ通りニ此邊ハ非常ナ山地デアリマシテ、山デアリマシテ殆ド此鐵道ハ川筋ヲ傳ウテ行クダケデ、其兩側ハ山デアアル、平地ハ殆ド無イト言ッテモ宜イ位ナンデアリマス、何カ産物ガアルカト云フト、何物ノ産物ノ聞クベキモノハナイ、或ハ鑛山ガアルト云ッテモ、是モ稼業ヲシテ居ル鑛山デハナイ、或ハ山林ガアルト云フヤウナ……、何時モ斯ウ云フ線路ヲカケル時ニ産物ト云ヘバ、木材、石材、薪炭、サウ云ツタヤウナモノニナルノデアリマスガ、山林ガアル、山林ガアルト申シマスルケレドモガ、日本ハ山國デ、人煙ノ少イ所ニハ皆山林ガアル、山林ガアルカラト云ッテ鐵道ヲカケテ居タナラバ、恐ラクハ鐵道ハ奔命ニ疲レルデアラウト思フ、此線ヲ鐵道會議ニ於テ質問イタシタ方ガアリマシタ、ソレニ對シテ最モ要領ヲ得タ所ノ答辯ハ斯ウ云フノデアリマス、御覽ノ通り……此地圖ヲ示シマシテ……御覽ノ通りニ此地方ハ鐵道ガ無クテ眞白クナッテ居ル、ダカラシテ此線路ヲ入レテカラ、モウ少シ黒クシナケレバナラヌト云フヤウナ答辯デアリマシタ、是ハ言葉ハ甚ダ奇妙ナ、奇矯ナ言デアリマスルケレドモガ、實ハソレガ、ソレヨリ外ニハ此鐵道ヲカケル必要ト云フノハナイノデ

アリマス、唯地圖ヲ黒クスルト云フダケガ一ツノ此鐵道ヲカケル必要デアアル、昨年三土鐵道大臣ガ會議ニ提出セラレタル所ノハ、先程モ申シマシタ通りニ主トシテ鐵道政策ニ基イテ出サレタモノデアリマスルカラシテ、何ソボカ或地方ニ偏シテ居ル、最モ偏シテ居ッタノハ四國ノ地方デアリマスルガ、ソレガ爲ニ關東ノ方デハ非常ニ苦情ガ出タ、サウシテ福島縣ガ最モ猛烈デアッテ、黨内ガ治ラナカッタ、先程モ申シマシタ通りニ鐵道案ノ運命ガ疑ハレル程ノ困難ニ陥ッタ、三土君モ是ニハホト／＼困ラレタ様子デアッタ、之ニ懲リタノカ或ハ其時ニ默約ガアッタノカ、明約ガアッタノカ存ジマセヌガ、内地デハ最モ利益率ノ惡イ所ノ線路デアアルト銘ヲ打ッテ、此案ヲ提出セラレタノデアリマス、斯様ニ鐵道ノ必要……鐵道政策ニ基イタモノデナクテ、黨内懷柔策ノ爲ニ出來タ所ノ鐵道デアアルノデアリマス、普通ノ此北海道ノ如キ平野ノアル所デアリマスナラバ、拓殖ノ見込ガアルト云フノデ、國策トシテ鐵道ヲカケテ、假令不利益デモ其處ヲ開拓スルト云フ見込ノアル所ナラバ、鐵道ヲカケルノモ私ハ或場合ニハ已ムヲ得ナイコトト思ヒマスガ、斯様ナ山地デアッテ、開拓スルト云ッテドモ出來ル所デナイ、山ノ木ヲ伐ッテシマッタソレ切リデ、五十年ナリ三十年ナリト云フモノハ何モ産物ハ無クナッテ來ル、斯様ナ所ニ唯面積ニ比例シテ、鐵道ヲカケルト云フコトハ、是モ私共ハ承知スルコトノ出來ナイ所ノ線デアアルノデアリマス、以上ハ主トシテ福島縣寄リノ方ヲ述ベタノデアリマスガ、此片方ノ此小出カラ柳津ニ至ル所ノ線ハ此只見川ノ谿谷ヲ歩イテ行ク所ノ線路デアリ

マス、兩側ハ申シマスル通りニ山デ、唯其谿谷ノ間ヲ只見川ガ流レテ居ル、其流筋ニ沿ウテ此鐵道ハカケテ行クノデアリマス、唯茲ニ最モ考ヘナクチヤナラナイコトハ、此只見川筋ニハ多大ノ水力電氣ガアルノデアリマス、其水力電氣ノ權利ハ東京電燈會社ガ持ッテ居ルノデアリマシテ、豫算會議ニ於テ或議員カラ要求セラレタモノデ、茲ニ提出セラレタ所ノ遞信省及内務省カラ出テ來テ居ル所ノ書類ヲ見マシテモ、非常ニ大キナ發電所ガアルノデアリマス、此柳津カラ只見ニ至ル所ノ此沿岸ニ於テ約十箇所餘リノ發電所ガアリマシテ、總計ガ十八萬「キロ」ニ上ボルト云フコトニナッテ居リマス、ソレデ東京電燈ハ前年信濃川筋デ十六萬「キロ」カ、十七萬「キロ」バカリノ發電所ヲ建設スル爲ニ千三百萬圓カ、千二百萬圓ノ金ヲ掛ケテ飯山鐵道ト云フ鐵道ヲカケマシテ、是ハ山ノ中デアリマスカラ何モ鐵道トシテ必要ガナイノデアリマスガ、水力電氣ニ必要ナ砂利、「セメント」、機械ヲ運搬スル爲ニ是ダケノ、千二百萬圓ト云フ大金ヲ掛ケテ、鐵道ヲ自分デカケテ居ル、ソレハ僅カデアリマセヌ十七萬「キロ」バカリ……、此只見川筋ノ電力ヲ總計イタシマスルト云フト、十八萬「キロ」ニナル、是ダケノ水力電氣ヲ拵ヘル爲ニハ六百萬圓ヤ、七百萬圓ヤ、此鐵道ニ要スル位ノ金ヲ、自分デ鐵道ヲカケテモ然ルベキ程ノ値打ガアルノデアリマス、デ此水力電氣ニ要スル所ノ總費用ガ一億數千萬圓、恐ラク二億圓ニ上ボルコトデアラウト思フ、斯ウ云フ點ニ付テ伊澤議員ハ、鐵道會議ニ於キマシテ此事ヲ質問セラレテ、是ダケノ大キナ水力ヲ開發スルト云フコトハ恐ラク、鐵道省ガ鐵道ヲカ

ケル理由ガアル、東京電燈ノ水利權デアアルケレドモガ、是ハ國家ノ利權デアアルカラ、之ヲ開發スルノニ鐵道ヲカケルト云フコトガ必要デアルケレドモガ、此鐵道ヲカケテ利益ヲ得ルモノト云フモノハ、殆ド東電ガ一手ニ此利益ヲ占メルノデアアル、デアアルカシテ何トカシテ此限度ニ於テ、東電ヲシテ此建設費ヲ負擔セシメタラドウカト云フコトヲ伊澤君ガ質問シタコトガアルノデアリマス、私共モ是ダケノ大キナ利益ヲ得ル爲ニハ、ソレ位ノ費用ヲ負擔シテモ然ルベキデアルト考ヘルノデアリマス、然ルニ其事ヲ伊澤君ガ言ハレマスルト云フト、鐵道ノ當局者ハ水力電氣ガ出來ルト云フコトハ私ハ初耳デアアル、左様ナコトハ初メテ此處デ伺フノデアルト云フ、斯ウ云フ御答辯デアリマシタガ、併ナガラ此水力電氣ガ、茲ニ是ダケノ大キナ水力電氣、是ホドノ水力電氣ガアルト云フコトハ、モット早く知レテ居ル所デアリマシテ、必シモ是ガ初耳デアアルベキ理由ガナイノデアリマス、然ルニ如何ナル間達デアアルカ知レマセヌガ、鐵道ノ當局者ハソレハ初耳デアアル、左様ナコトハ聞イタコトガナイト云フ答辯デアリマシタ、是ハ私共ハ何ノ爲ニ左様ナ答辯ヲセラレタノデアアルカ、私共ニハ能ク理解ガ出來マセヌケレドモガ、併ナガラ左様ナコトガ初耳デアアルト云フヤウナコトデハ、鐵道ノ調ベト云フモノハ誠ニ頼リノナイモノデ、私共ノヤウナ素人デサヘ知ッテ居ルヤウナ水力電氣ガ、左様ナモノガアルト云フコトヲ私共初メテ聞イタト云フコトヲ、政府ノ當局者ガ言フト云フコトハ、私共ハ政府ノ調ベト云フモノガ、何ニ基イテ出來テ居ルモノデアアルカト云フコトヲ疑

ハザルヲ得ナイ、此今ノ鐵道會議ニ於キマシテ、只見川ノ水力電氣ガ問題トナツタ時ニ、此鐵道會議ニ於キマシテ此事ガ問題トナツタ時ニ、丁度其場合ニ東電ニ關係ノアル所ノ鐵道會議々員ガ居リマシテ、其處デ、此東電ガ水力ヲ……水利權ヲ有シテ居ルケレドモガ、併ナガラ今東電ハ是ダケノ仕事ヲスル資力モ無イシ、今之ニ掛カル考ヘハナイ、今掛ラウトシテ居ルモノハアノ福島縣寄リノ柳津デ仕事ヲスルノデアツテ、此只見川筋ノ鐵道ノ建設ニハ關係ガナイト云フコトヲ、東電ニ關係ノアル議員ガ述ベラレマシタガ、併ナガラ成程今直グ掛ラウト云ツテモ、線モ何ニモナイ所ニ、水力電氣ノ工事ニ掛カルコトハ出來ナイ、掛カルト云フコトハ鐵道ヲ建設シテカラノ上ノコトデアル、今掛カル見込ガナクテモ、鐵道ガ出來タ頃ニハ水力電氣ニ掛カルニ極マツテ居ル、是ハ單ナル遁辭デアリマシテ、此鐵道ガ出來ル頃ニナリマスト云フト、丁度今ノ水力電氣ニ取掛カル好時期ニ至ルデアラウト私共ハ推測スルノデアリマス、デアリマスカラ若シ斯様ナコトガ事實デアラナラバ、私共モ伊澤君ト同ジヤウニ、是ダケノ大キナ水利權ヲ活用スルコトガ出來ルナラバ、六百萬圓ノ費用ヲ此處ニ投ジテモ、是ハ假令國家ノ資本デアラウガ、電氣會社ノ資本デアラウガ、通シテ然ルベキモノデアラウト私共ハ考ヘル、デアリマスルカラ之ヲ、此水利權ヲ活用スルト云フコトニ付テ異議アリマセヌケレドモガ、併ナガラ其建設費ノ大部分ト云フモノハ、之ニ依ツテ利益ヲ受ケル所ノ東電ニ負擔セシメルト云フコトガ、最モ人ノ疑惑ヲ解ク所以デアラウト思フ、此際三土君ニ伺ヒタイノハ、若シ是ガ、此豫算ガ此儘通過シ

タナラバ、或ハ其利益ヲ受ケル所ノ限度ニ於テ、東電ヲシテ負擔セシムル所ノ意思ガアルヤ否ヤト云フコトモ、此機會ニ於テ鐵道大臣カラ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、第四ハ九州ノ添田・日田間ノ問題デアリマス、此線ハ此處ニ上程セラレテ居ル所ノ敷設法中改正法律案ニ關係ノアル所ノ線デアリマスルガ、此附近ノ線路狀態ヲ一應申上ゲテ置カヌト云フト、御理解ガ行キニクイダラウト思ヒマスガ、是ハ九州ノ部デアリマシテ、此日田ト云フ所ハ、是ハ九州デハ田舎ノ山ノ中ノ都邑デアリマスケレドモ、九州デ有名ナ所デアリマス、此日田ト云フ所ニ久大線ト申シマスル、大分カラ久留米ニ至ル所ノ線ガ、今年中ニハ此日田ト云フ所デ、兩方カラ工事ヲシテ來ルノガ合致シテ、久大線ガ全通スルコトニナツテ居ルノデアリマス、御覽ノ通りニ日田ト云フ所ハ山間ノ都邑デアリマシテ、今日迄マダ鐵道ガ一つモ通ジテ居ナイ所デアリマス、尤モ先年、久留米ト日田トノ間ニハ小サナ輕便鐵道ガアツタノデアリマスケレドモ、此久大線ガ出來ルト云フト營業ガ成立タナイト云フ理由デ、小川鐵道大臣ノ時ニ廢業シテ、政府カラ補償ヲ取ツタ、補償ヲ取ツテ廢業シタノデアリマス、是ガ補償ヲ取ル案、此補償ヲヤル案ガ議會ニ出マシタ時ニ私ハ、マダ久大線ガ出來テ居ナイ中ニ、久大線ガ出來タナラバ營業ガ成立タスシテ止メテシマツタナラバ、日田ト久留米トノ間ノ交通ガ出來ナクナリハシナイカ、又此久大線ガ出來テカラ廢業ヲ許シタ方ガ宜イデヤナイカト云フ質問ヲ致シマシタ、所ガ當時ノ當局者ハ、乘客ノ大部分ハモウ既ニ自動車ニ移ッテシマツテ居ル、荷物ハ大シテ言フニ足ルモ

ノハナイ、デアルカラシテ是ハ廢止サセテモ差支ナイト云フコトデアツタ、ソレカラ今日ニ至ル迄三年以上經テ居ル、然ルニ久大線ハ色々ナ故障デ全通スルコトガ出來ナイ、日田ト云フ所ハ鐵道ガ無クテ、通路ガ無クテ、貨物ノ通路ガ無クテ困ツテ居ル、此私設鐵道ハ好イ時ニ廢業シテ好イ補償ヲ貰ツテ、私設鐵道ハホクノデアリマスケレドモ、日田ノ交通ハ非常ニ阻害サレタ、是ハ色色ノ評判モアリマシタケレドモガ、免ニ角サウ云フ風ナ狀態デアアル、併シ輕便鐵道デアリマスケレドモ鐵道ヲ引ツ割ガシテ、サウシテ三年ニ及ンデモ大シタ問題ヲ起サナイ

〔副議長伯爵松平頼壽君議長席ニ著ク〕
成程地方ハ困ツタニ相違アリマセヌガ、困ツタ、困ツタト云ヒナガラ大問題ヲ起サナイ、議會ナドモソレヲ聞イタコトノナイ程ノ所デアアル、是程ノ大問題、鐵道ヲ引ツ割ガシテ三年ニナツテ、ソレデ大シタ問題ガ起ラナイト云フノガ日田ノ地方ノ値打デアアル、左様ナ値打ノアル所ニ、左様ナ貧弱ナ値打ノ所ニ今度ハ、今年ニ至ツテハ久大線ト云フ立派ナ大キナ幹線ガ繋ガツテ來ルノデアアル、此久大線ガ出來マシテ、日田ト云フ所ハ久留米カラ博多、若松、小倉、門司ト云フヤウニ自由ニ兩方、何方カラデモ廻ツテ繋ガルヤウニナツテ來ルノデアアル、ソレニ報ユルダケノ貨物ヤ客ガアルカ無イカト云フコトハ頗ル問題ダト思ツテ居ル、然ルニ、又此日田ヲ中心トシテ、此日田ト添田トノ間ヲ繋イデ、サウシテ北九州ニ日田ヲ繋ガナケレバナラヌト云フ程ノ必要ガアルカドウカト云フコトハ、私非常ニ問題ダト思フ、而モ此處ハ豫定線ニナイ所デアリマシテ、豫定線ニナイト云フコトハ此處ハ大變大キナ山ガアツテ、所謂彦山ノ山脈デアリマシテ、之ヲ越エテ行カナケレバナラヌ、デアリマスカラシテ豫定線ヲ追加シテ、サウシテ此處ニ新シイ線ヲカケヤウト云フコトニナツテ居ル、斯ウ云フ風ナ鐵道ガ果シテ要ルノデアアルカ、久大線デマダ不足デアアルカ、ソレ程ノ貨物ガアリ、客ガアルノカト云フコトハ、私共非常ニ疑ナキヲ得ナイノデアリマス、ソレデ此久大線ガアル上ニ持ツテ行ツテ、又日田・添田ト云フ線ヲ加ヘル必要ガアルカ無イカト云フコトガ疑問デアアル上ニ、此日田・添田ト云フ所ノ線ヲ拵ヘタ爲ニ、非常ナ政治上ノ罪惡ガ行ハレテ居ルト云フコトヲ諸君ニ申上ゲナケレバナラヌノデアアル、ト申シマスルノハ、此圖面ヲ御覽下サイマスト云フト御分リニナル通りニ、日田ト中津トノ間ニハ豫定線ガアルノデアリマス、法律デ定メタ所ノ豫定線ガアル、十文字ノ繋ギ、十字繋ギノ線ガ之ガ日田・中津ノ豫定線デアアル、日田ト云フ所ヲ北九州ト繋グノニ此豫定線ヲ通ルト云フコトガ、大正十一年以來約束セラレタ所ノ豫定線デアアル、是ガ添田ノ方ヘ持ツテ行ツテ繋グコトニナリマスルト云フト、日田ト中津ニ至ル所ノ豫定線ト云フモノハ全ク效力ヲ失ツテ、最早久大線デスラ日田ト云フ所ノ旅客ヤ貨物ハ十分デアラウト思フ所ニ、尙ホ添田ト日田トノ間ヲ繋イデ、其上ニ尙ホ日田ト中津トヲ繋グト云フコトハ、最早二十年ヤ三十年必要ガアラウト思ハレナイ位ノ所デアリマス、是ガ此豫定線ガ效力ヲ失フト云フダケデアラナラバ大シタ問題デアリマシテ、豫定線ノ上ニ耶

馬溪鐵道ト云フ鐵道ガアル、ソレハ元ト明治ノ末年、大正ノ初メ頃ニ出來タ所ノ鐵道デアリマスガ、其出來タ時ニハ二呎六吋ノ小サナ輕便鐵道デアッタ、大正十一年ニ此豫定線ガ出來タ爲ニ、此耶馬溪鐵道ハ線路ヲ延長シヤウト云フコトヲ鐵道省ニ出願シタ、所ガソレナラバ此豫定線ノ上ニ線路ヲ拵ヘテ、サウシテ二呎五吋ノ小サナ輕便鐵道デアル有ノ豫定線ノ上ニカケルノニハ不都合デアルカラシテ、之ヲ三呎六吋ノ鐵道ニ改築シロト云フコトヲ嚴命サレタノデアアル、一旦ハ耶馬溪鐵道ハ此鐵道省ノ命令ヲ奉ジマシタケレドモ、當時財界ガ甚ダ惡カッタ爲ニ何トカシテ、此期限内ニ軌幅ヲ改築スルコトガ出來ナイカラ、モウ少シ期限ヲ延バシテ載キタイト云フコトヲ出願シタ、所ガ元田鐵道大臣ハソレヲ拒絶、却下イタシマシテ、左様ナコトハ罷リナラヌ、期限通りニ拵ヘナケレバ權利ヲ失フト云フ嚴命ヲ下サレタ、耶馬溪鐵道ハ政府ノ命令デアリマスカラ已ムヲ得ズソレニ從ツテ、銀行カラ金ヲ借りテ改築ヲシタ、是ハ何故サウ云フ風ナコトヲスル、株主モ此増資ニ同意シタカ、銀行ハドウシテ斯ウ云フ鐵道ニ金ヲ貸シタカト云フコトハ、是ハ豫定線デアルカラシテ、銀行モ金ヲ貸シ、地方ノ人モ増資ニ應ジタ、然ルニ今同ニ至テハ……前ノ元田鐵道大臣ガ左様ナコトハ罷リナラヌカラ期限通りニ拵ヘロト云フコトハ豫定線デアルカラデアアル、所ガ今度ハ新タニ別ノ方ニロフ開ケテ、其方ニ豫定線ヲ作ツテ、其方ヘ直ニ鐵道ヲ九年度カラ拵ヘヤウ、斯ウナルト云フト此豫定線ト云フモノハ全ク價值ヲ失ツテシマフ、耶馬溪鐵道ノ如キハサウ云フ状態ニナルコトデアレバ、

昔ノ二呎五吋ノ遊覽鐵道デアッタ方ガ遙ニ宜イノデアアル、是ハドウ云フ譯デスウ云フヤウナ惡政ガ行ハレルノデアアルカドウカト云フコトハ、私共ハ誠ニ其意味ガ分ラナイノデアアル、政府ノ説明ニ依リマスト云フト、此日田ト添田ノ間ヲ繋グ所ノ線ト、日田ト中津ノ間ヲ繋グ線ト比ベルト云フト、日田ト添田ヲ繋グ方ガ金額ガ安ク出來ル、斯ウ云フ説明デアリマスルケレドモ、ソレノ中ニハ耶馬溪鐵道ヲ買收スル費用ガ含ム、先程申シマシタ通り、私設鐵道ガ既ニ國家ノ資本ヲ使ツテ出來テ居ル、是ハ何トカシテ利用スルヤウナ方法ヲ講ズルト云フコトガ賢明ナ策デナクチヤナラヌ、然ルニ斯様ナ線路ヲ拵ヘルト云フコトハ、誠ニ私共ハ解スルコトガ出來ナイ、此日田・添田間ノ鐵道ニハ炭ガ出ルト云フコトデアアル、併シ其炭ノ出ルノハズト北ノ方ニ寄ツテ、日田カラ五哩バカリノ所ニ炭ガ出ル、其炭坑ハ九州ノ有名ナル炭坑ノ持主ガ持ツテ居ル、サウシテ此日田カラ添田迄持ツテ來マスト云フト、此鐵道ガドウ云フ状態ニナルカト云フト、此處ニ示シテアリマス小サナ梯子ノヤウナ線ノ私設鐵道デアリマスルガ、此小倉鐵道ト云フ私設鐵道、此私設鐵道ノ小倉鐵道ニ繋ガルノデアリマス、是ガ繋ガルト云フト小倉鐵道ノ買收ヲ運動スル爲ニ非常ニ利益ニナル、此炭坑ノ持主ハ小倉鐵道ノ……持主ガ小倉鐵道ノ關係者デアアルカドウカ私ハ承知シマセヌケレドモ、併ナガラ此間ニ何等カノ事情ガ含ンデ居ルノデハナイカト云フコトヲ私共ハ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、第五ハ四國ノ線デアリマスルガ、此線ニ付キマシテハ私ハ多クノコトヲ知り

マセマ、ナシタ知識ヲ持ツテ居リマセヌ、併ナガラ是ガ先程申シマシタ通りノ分布ヲ主眼トスル所ノ線デアアルコトハ申ス迄モナイ、九州ニモアリ、北海道ニモアリ、本州ニモアルカラ、四國ニモナカラザルベカラズト云フノデ選ビ出サレタノガ此須崎・窪川間ノ線デアラウト思フ、此線路ト云フモノハ先程モ鐵道大臣ガ説明セラレマシタ通りニ、四國循環鐵道ヲ急グ所ノ意味ノ鐵道デアリマス、四國循環鐵道ト云フヤウナ線路ハ甚ダ贅澤ナ話デアリマシテ、四國ヲ循環シテ廻ッテ歩カウト云フ、サウ云フ暢氣ナ旅客ハサウ澤山アル譯デハナイ、又貨物ニ致シマシテモ、四國ヲ循環シテ廻ッテ歩カウト云フ貨物ハ恐ラクアリマス、斯様ナ循環鐵道ト云フヤウナコトハ普通素人ガ考ヘラレル所ノコトデアリマスルケレドモガ、斯ウ云フ風ナ旅客貨物ノ流レト云フモノハ甚ダ少イノデアリマス、大體ニ於テ中央ニ向ッテ急グノガ本當デアリマス、四國ニハ此中央ニ向ッテ急グベキ線ガ澤山礎ツテ居ル、何ヲ苦ンデ斯様ナ線ヲ、四國循環鐵道ト云フヤウナモノヲ急ガレルノデアアルカ私共ハ意味ガ分ラヌ、是モ全ク今ノ全體ノ分布ヲ趣意トスル所ノ、政黨懷柔策ニ出發シタモノデアアルマイカト云フコトヲ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、以上申上ゲマシタ通り此五ツノ線ト云フモノハ、誠ニ其鐵道ノ政策カラ考ヘマスルト、本筋カラ考ヘマスルト云フト、誠ニ意味ノナイ所ノ鐵道デアリマスル、三土君ハ就任以來建設集中主義ヲ執リマシテ、既定ノ線路デモ工事中ノ線路ノ完成ヲ急イデ、假令著手シタモノデモ餘リ有用デナイモノハズツト後年度ニ延バス、又有用ナ線ハ年度ヲ繰上ゲテヤルト、今年一年間線

上ゲラレルモノハ十一線ノ多キニ及ブ、其外年度ハ繰上ゲナイケレドモ、工事ヲ繰上ゲルト云フヤウナコトヲセラレテ、非常ニ私共ガ尊敬ヲ拂ツテ居ルニ拘ハラズ、尙ホ三土君ハ斯ウ云フ風ナ、私共カラ考ヘテハ譯ノ分ラヌ線路ヲ計畫セラレルト云フコトハ、何ノ意デアアルカト云フコトヲ私共ハ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、齋藤内閣ハ先程モ申シマシタ通りニ政黨ノ不信用ヲ恢復スル、綱紀ヲ振肅シテ政界ヲ淨化スルト云フコトヲ一枚看板トシテ立タレタ内閣デアアルニ拘ハラズ、斯様ナモノガ、五・一五事件ノ記憶ガ薄ラグト同時ニ、斯様ナ政策ガボツ／＼ト此議院ニ提出セラレルヤウニナツト云フコトハ、誠ニ嘆ハシイコトデアリマス、說教デ世態ガ直ルモノデアナイノデアリマス、實物ノ教育ガ非常ナ力ヲ占メル、政黨ガ黨利ノ爲ニ國家ノ公器ヲ濫用スルト云フコトヲマザ／＼見セ付ケテ、サウシテ思想ヲ善導シヤウト云フヤウナコトハ、是ハ連モ出來ルコトチヤ私ハナイト思フ、小倉鐵道大臣ガ大買收案ヲ出シテ、貴族院ガ之ヲ修正シテ不成立トナリ、床次鐵相ガ又多數ノ鐵道ヲ買收スル案ヲ拵ヘラレタ、是モ不成立ニナツタ、ソレデ國家ガドウナツタカト云フコトヲ考ヘテ見ルト云フト、何トモナツテ居ナイ、コンナモノハ無カッタ方ガ宜カッタ、私ハ今度ノ此新線計畫デモ、是ハ何ノ爲ニ必要ガアル、是ハ能ク御考ニナツテ、私ハ直ニ潰セト云フコトヲ申上ゲルノデナクテ、一年デモ二年デモ御考ニナツテ、ドウシテモ必要ダト云フナラバ、四十「キロ」ヤ五十「キロ」ノ鐵道ハ二年カ三年掛カレバ出來ル、ソレデモ遅クハナイ、鐵道會議ニ於テ或議員ガ何故ニ、斯様ナ四十

「キロ」カ五十「キロ」ノ線ガ五年六年ト掛カ
ルノハドウ云フ譯カト言ツテ、不思議ガツテ
質問セラレタガアル、是ハ單ニバラ撤ク
爲ニ斯ウ云フ風ニシタニ過ギナイ、眞實必
要ガアルナラバ、其時ニ二年カ三年經ッテ
出來ル、先年私共同志僅ニ十五人カ二十人
ガ此製鐵合同案ニ反對イタシマシテ、併ナ
ガラ多數ヲ以テ此合同案ハ通りマシタガ、
併ナガラ今日ニ至ッテ、此製鐵合同問題ニ付
テ我ガ憂慮シ我ガ論ジタコトガ、現在其
通りニナツテ來ツツアル、遂ニ今年ノ議會ニ
於キマシテ網紀問題ニ火ヲ點ケルヤウナ狀
態ニナツタト云フコトハ、矢張り此製鐵合同
問題ガ起リデアット考ヘルノデアリマス、
私共此鐵道建設案ガ一年二年通ラナカッ
タ所ガ、決シテ國家ガドウモナルモノデナ
イ、此八百萬圓宛御増シニナツトハ、是ハマ
ア今迄ノ新線ニ御使ヒニナツテモ澤山デア
ル、外ノ方ニ金ガ要ラヌト云フコトデアラナ
バ、今迄アル所ノ鐵道ニ御掛ケニナツテ十分デ
アル、斯様ナ案ガ易ミト本院ヲ通過スルヤウ
ナコトニ至ッテハ、私ハ議院ノ信用ニモ關ハル
モノデハナイカト、私ハ考ヘテ憂慮スルノ
デアリマス、併ナガラ之ニ對シテハ政府ノ
當局者トシテハ、相當ノ御議論モアリマセ
ウシ辯明モアラウト思フ、一應其辯明ヲ伺
ヒタイト思フノデアリマス

〔國務大臣三土忠造君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(三土忠造君) 青木君ノ御質問
ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス、今回新線計畫
ヲ提案イタシマシテ御協賛ヲ仰イデ居リマ
スルガ、之ニ付キ如何ニモ黨利黨略ニ依ッテ
線路ヲ選定シタヤウニ仰シヤラレタノデア
リマスガ、是ハ私ト致シマシテハ甚ダ心外
ニ存ズル次第デアリマス、私ハ鐵道大臣ニ

就任イタシマシタ時カラノミナラズ、餘程前
カラ左様ナ非難ヲ屢、世間カラ受ケルコトヲ
耳ニ致シマシテ、常ニ之ヲ遺憾ニ思ウテ居
ル者デアリマス、從テ私ハ二十五年間議員
生活ヲ致シテ居リマスルケレドモ、鐵道ノ
建設ニ付キマシテ地方ヘ參リマシテモ、未
ダ一回モ政黨ニ之ヲ利用シテ彼此レ申シタ
コトハナイノデアリマス、私ノ郷里ニ於キ
マシテモ鐵道運動ガアリマシタガ、私ハ皆
押ヘテ、政府ハ技術及採算上カラ鐵道ヲカ
ケルノデアアルカラシテ、當然カケルベキモ
ノカラカケルノデアアルカラ、運動ハ無用デ
アル、一切運動ハ要ラヌト申シマシテ、一
切運動ヲ押ヘタヤウナ次第デアリマス、鐵
道大臣ニ就任イタシマシテモ、兎ニ角世間
ノ非難ノアリマスコトハ多少事實デアリマ
ス、ドウシテモ地方ガ非常ニ希望イタシマ
スカラシテ、熱心ニ申シテ參リマス、人
情ニ絆サレテ、其結果黨利黨略ニ陥ルト云
フコトハ免レヌ、是ハドウシテモ匡正シナ
ケレバナラヌト云フ、斯ウ云フ私ハ考ヲ以
テ、鐵道大臣トシテ臨ンデ居ルノデアリマ
スカラ、黨利黨略カラ脱却スルト云フコト
ガ私ノ重大使命ト考ヘテ居ルノデアリマス、
所ガ今回選定イタシマシタモノガ考ヘヤウ
ニ依リマス、青木君ノ仰シヤルヤウニモ
見ラレマスガ、青木君ノ仰シヤラレマスノ
ハ、第一分布ノ狀態ヲ見テモ、北海道、九
州ニ互リマシテ、大體ニ割振ッテアル、是ハ
黨利黨略デハナイカト云フコトヲ言ハレマ
スガ、丁度議員諸君ノ御手許ニ地圖ガゴザ
イマスカラ御覽ヲ願ヒタイノデゴザイマ
ス、本島ニ於キマシテ福島縣以北ニハ一ツ
モアリマセヌ、又東京以西、下關迄ニハ一
線モ入レテナイノデアリマス、若シ分配公

平主義デ行キマスナラバ、福島縣内ニ二線
モ新線ヲ入レズシテ、或ハ東北ニモウ一ツ、
中國、四國方面ニモモウ一ツト云フコトヲ
致シタデアリマセウガ、サウ云フコトハ少
シモ眼中ニ置イテ居リマセヌ、唯此一線毎
ニ付テノ御話デアリマスガ、名寄、朱鞠内ノ
鐵道デアリマス、是ハ先年豫算ニ計上シテ
アツタノデアリマスガ、江木鐵道大臣ノ時分
ニ削除セラレタ、當時私ハ削除セラレタコ
トモ御尤ト考ヘテ居リマス、當時ニ於キマ
シテハ兩龍電力會社ノ貯水池ノ問題モアリ
マスルシ、ソレカラ工事費ニ非常ニ金ガ掛
カルノデ止メラレタト思ヒマス、然ルニ今
日ニ於キマシテハ此電力發電所ノ貯水池ヲ
北廻リヲ致シマスコトガ、寧ロ便利デアルヤ
ウニナツテ參リマシタノト、ソレカラ建設技
術ノ進歩ニ依リマシテ、建設規程ノ改正、
運輸規程ノ改正ノ結果簡易線デアレマスノ
デ、割合ニ經費ガ少クテ出來ルノデアリマ
ス、同時ニ此方面ノ開墾計畫ガ段々進ンデ
參リマシテ、北海道長官カラモ熱心ニ之ヲ
希望シテ參ッタノデアリマス、現在ノ長官ハ
私ガ申スマデモナク、近來稀ナル名長官ト
私ハ信ジテ居リマス、北海道開拓ニ付キマ
シテハ餘程廣イ眼ヲ以テ、公正ニ考ヘテ、
非常ニ良クヤッテ居ルト思ヒマスカラ、
鐵道ノ新線設置ニ付キマシテモ、北海
道長官ノ意見ヲ私ハ餘程尊重スルノデア
リマス、北海道長官ハ他ノドノ線ヨリモ先
ヅ此線ヲヤッテ貫ヒタイ、斯ウ云フノデア
アリマス、ソレハ「オホーツク」海ト日本海
方面ヲ結付ケルト云フコトガ、ソレカ
ラ幌稚線ノ終點ヘ名寄カラ結ビ付ケマスコ
トガ、此方面ノ全體ノ關係カラ宜シイト云
フコトト、主トシテ北海道拓殖計畫ハ此方

面ニ力ヲ用ヒテ段々ニヤッテ行ク方針ニナツ
テ居ルカラシテ、旁、以テ此方ガ宜イカラ是
非ヤッテ貫ヒタイト云フコトガ、最モ北海道
長官ノ熱心ナル希望デアリマシタ、私ハ一
昨年モ昨年モ二度北海道ニ參リマシタガ、
北海道程鐵道ノ運動ガ激シイ所ハナイノデ
アリマス、各方面カラ運動ニ參リマシタ
ガ、私ハ札幌歡迎會ノ席上デ申シタノデ
アリマス、諸君ガ非常ニ運動サレルガ、鐵
道ニ對シテハ私ガ鐵道大臣ヲシテ居リマス
ル間ハ、少クトモ其間ダケハ運動ハ無用デ
アル、東京マデ多勢來ラレテ旅費ヲ費スコ
トヲ見ルト云フトゾツトスル、一切サウ云フ
コトヲスル必要ハナイ、鐵道省ハ鐵道省ノ見
ル所ニ依ッテ鐵道ノ建設ヲ行クカラシ
テ、一切御無用デアルト云フト強ク申
シタ次第デアリマス、左様ナ次第北海道
長官ノ意見ニ依ッテ拓殖計畫トノ關係上、ソ
レカラモウ一ツハ採算上、又近頃ニナリマ
シテハ建設運輸規程ノ改正ガ出來マシタ結
果トシテ、廉ク出來ルカラヤラウ、斯ウ云
フコトニナツタノデアリマス、ソレカラ其次
ニ會津方面ノ二線デアリマスルガ、只見・小
出間ノ鐵道ハ是ハ地圖デ御覽ニナレバ分リ
マスル通り、常越線ガ出來マシタノデ、奥
地開發ノ意味ニ於キマシテ只見附近マデ鐵
道ヲ延バシマスルト、是ガ一番東京ノ近イ
ノデアリマス、彼ノ物資ノ相當アリマスル
只見ヲ開發イタシマシテ、之ヲ東京方面ヘ
繋グト云フコトハ、最モ都合ガ好イノデア
リマスカラ、之ヲ選ンダノデアリマス、ソ
レカラ會津方面カラ出マス所ノ柳津・川口
間ノ鐵道ガアリマス、是ハ此線ダケ申シマ
ストサウ利益線デアリマセヌケレドモ、相
當培養線ト致シマスルト有益デ、培養ト此

面ニ力ヲ用ヒテ段々ニヤッテ行ク方針ニナツ
テ居ルカラシテ、旁、以テ此方ガ宜イカラ是
非ヤッテ貫ヒタイト云フコトガ、最モ北海道
長官ノ熱心ナル希望デアリマシタ、私ハ一
昨年モ昨年モ二度北海道ニ參リマシタガ、
北海道程鐵道ノ運動ガ激シイ所ハナイノデ
アリマス、各方面カラ運動ニ參リマシタ
ガ、私ハ札幌歡迎會ノ席上デ申シタノデ
アリマス、諸君ガ非常ニ運動サレルガ、鐵
道ニ對シテハ私ガ鐵道大臣ヲシテ居リマス
ル間ハ、少クトモ其間ダケハ運動ハ無用デ
アル、東京マデ多勢來ラレテ旅費ヲ費スコ
トヲ見ルト云フトゾツトスル、一切サウ云フ
コトヲスル必要ハナイ、鐵道省ハ鐵道省ノ見
ル所ニ依ッテ鐵道ノ建設ヲ行クカラシ
テ、一切御無用デアルト云フト強ク申
シタ次第デアリマス、左様ナ次第北海道
長官ノ意見ニ依ッテ拓殖計畫トノ關係上、ソ
レカラモウ一ツハ採算上、又近頃ニナリマ
シテハ建設運輸規程ノ改正ガ出來マシタ結
果トシテ、廉ク出來ルカラヤラウ、斯ウ云
フコトニナツタノデアリマス、ソレカラ其次
ニ會津方面ノ二線デアリマスルガ、只見・小
出間ノ鐵道ハ是ハ地圖デ御覽ニナレバ分リ
マスル通り、常越線ガ出來マシタノデ、奥
地開發ノ意味ニ於キマシテ只見附近マデ鐵
道ヲ延バシマスルト、是ガ一番東京ノ近イ
ノデアリマス、彼ノ物資ノ相當アリマスル
只見ヲ開發イタシマシテ、之ヲ東京方面ヘ
繋グト云フコトハ、最モ都合ガ好イノデア
リマスカラ、之ヲ選ンダノデアリマス、ソ
レカラ會津方面カラ出マス所ノ柳津・川口
間ノ鐵道ガアリマス、是ハ此線ダケ申シマ
ストサウ利益線デアリマセヌケレドモ、相
當培養線ト致シマスルト有益デ、培養ト此

線ノ利益ト兩方合セマスルト、鐵道省ノ計
算デハ五分六七八厘ニ付クノデアリマス、
ソレ位ナ純益ノ擧テ來マス鐵道デアリマ
スカラシテ、此方面開發ノ爲ニ是非ヤリタ
イ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマシテ、此方
面ノ地圖カラ見マスルト、全ク白イ地圖ニナ
テ居ル、此所ヲ黑クスル爲ニトヤルノデア
ル、ソナコトヲ申シタコトハ決シテアリ
マセヌ、青木君ガ左様ニ御考ヘニナッタノ
ハ、或ハ言葉ノ誤解デナイカト思フノデア
リマスガ、免モ角彼ノ方面ハ鐵道ガ無イノ
デアリマス、産業開發ノ見地カラ申シマシ
テモ、奥地開發ノ積リデドウシテモ兩方カ
ラヤル、將來出來レバ之ヲ繋グ、斯ウ云フ
積リデアリマス、唯此只見・小出間ノ只見
川ノ流域ニ於キマシテ、東京電燈及新潟電
力ノ發電所計畫ガアルノデアリマス、之ニ
付テ伊澤君ガ鐵道會議デモ御質問ニナリマ
シタガ、此計畫ノアルコトハ無論鐵道省ノ
者モ存ジテ居ルノデアリマスガ、アノ時分
ニ政府ノ者ガ、ソレハ全ク初耳ダト申シマ
シタヤウニ聞エマシタガ、ソレハサウデナイ
ノデアリマス、此發電計畫ハ幾ツモアリマシ
テ、箇所ハ幾ツモアルノデアリマスルガ、
只見川ノ流域ガ最も多イ、主トシテ東京電
燈ガ持ッテ居ルノデアリマス、東京電燈ハ水
利使用ノ許可ハ得テ居リマスルケレドモ、
未ダ工事實施ノ施工許可ハ受ケテ居ラヌノ
デアリマス、一ツモ受ケテ居リマセヌ、又
東京電燈ノ電力供給其他ノ資本關係カラ
申シマシテモ、之ヲサウ早クヤルト云フヤ
ウニハ見テ居リマセヌ、故ニ東京電燈ガ直
グニ仕事ヲ始メルノデアルカラ、利益ガア
ルト云フヤウナコトヲ言ハレマスルノニ對
シテ、左様ナコトハマダ考ヘテ居ラヌト云

フ意味ヲ申シタノデアリマシテ、計畫其モ
ノガ有ルト云フコトヲ知ラヌト申シタノデ
ハナカラウト思フノデアリマス、今日デ
モ逡信省ノ見ル所デハ電力供給ノ關係カラ
申シマシテモ、マダ急イデ東京電燈ガ事業
ヲ開始スル必要ハナカラウト見テ居ルヤウ
デアリマス、從テ今日迄ノ所ハ一箇所モ事
業ノ施工認可ハ得テ居ラヌヤウナ狀況デア
リマス、唯此鐵道ガ出來マスルト云フト、
東京電燈ガ仕事ヲ始メマスルノニ、材料品
ヲ運搬スルノニ大變都合ガ好イ、非常ニ利
益ニナルカラ、鐵道ガ出來タラヤルカモ知レ
ナイ、其場合ニ於キマシテハ、東京電燈ハ相
當ノ利益ヲ得ルカラ寄附ヲサセテハドウカ
ト云フ話デアリマスガ、所ガ私共ノ考ハ非
常ニ違フノデアリマス、鐵道省ガ仕事ヲ致
シマスルノニ、其地方ノ特別ニ必要ニ依ッ
テ、例ヘバ引込線ヲ入レルトカ、或ハ何處ニ
停車場ヲ設ケルトカ云フ場合ニ、受益者ヲ
シテ負擔ヲセシメルト云フコトハ致シマス
ルケレドモ、國ガ鐵道ヲカケル結果トシテ、
何者ガ利益シヤウガ、利益スル人ガ多イ程
結構ナノデアリマス、若シ受益者ヨリ利益
ガアルカラ寄附ヲ取ルトナリマスルト云フ
ト、ドノ線モ全部取ラナケレバナラス、殊
ニ鐵道ノカカリマスル如何ナル川デモ、大
キナ川ニナリマスルト云フト大抵發電所ナ
ドガアリマス、又自ラ發電計畫モアリマス、
ソレカラ利益ガ得ラレルカラ寄附ヲ取ルト
云フコトハ、私ハ考ヘタコトハアリマセヌ、
内務省ニ於キマシテモ、逡信省ニ於キマシ
テモ、ソレハ許サナイノデアリマス、何故
ナレバ、ソレダケ寄附イタシマスレバ、其
寄附シタ金ダケ投下資本ガ多クナリマスル
カラシテ、電力代ガ高クツイテ、結局需用

者ニ轉嫁サレルノデアリマス、我々ハ假令
如何ナル利益ガアリマシテモ、國ガ強制シ
テ寄附ヲ取ルヤウナコトハ宜シカラザルコ
トト考ヘテ居リマスカラ、非常ニ考ガ違フ
ト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラ
添田線デゴザイマスガ、是モ地圖デ御覽ニ
ナリマスル通り、添田・日田間ヲ繋ギマス
云フコトハ、明年完成イタシマス久大線……大
分カラ久留米ヘ參リマスル線ト、ソレカ
ラモウ一ツハ、ソレカラ分岐イタシテ居リ
マスル宮原線、此線ガ完成イタシマスルト
云フト、此方面ト北九州トヲ繋グ必要ガア
ルノデアリマス、北九州ト繋グト申シマス
ルコトハ、福岡縣ノ鑛業中心地ヘ繋グコト
ガ最も必要デアリマスルコトハ申スマデモ
ナイノデアリマス、然ルニ何故是マデノ敷
設法ニ於テ、耶馬溪鐵道カラ日田ヘ繋グ
ヤウニシテ居ツカト申シマスルト云フ
ト、此添田・日田間ハ矢張り工事ガ難工
事デアリマシテ、非常ニ勾配ガキツイト
云フノデ、鐵道ノ建設ハ不可能デアルト云
フコトカラ、豫定線デ只今ノヤウニ定ッテ
居ツカトデアリマス、從テ耶馬溪鐵道會社ト
致シマシテハ、豫定線デアリマスカラシ
テ、何レ政府ガ之ヲ貫通スル、サウシテ鐵
道ハ買收サレル、斯ウ聯絡ガ付キサヘスレ
バ誠ニ結構デアアルカラト云フノデ、資本ヲ
投下シテ餘程擴張ヲ致シタノデアリマス、
其事情カラ申シマスルト云フト、誠ニ氣ノ
毒ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、私ハ之ニ
對シテドウスルカト云フコトヲ今考慮イタ
シテ居リマスルガ、併シ大キナ眼ヲ以テ見
マスルト云フト、此久大線ノ沿線カラ北九
州ヘ繋グト申シマスルト云フト、中津ヘ繋

問題ニナラヌ程違フノデアリマス、比較ニ
ナラヌ程一方ノ方ガ必要ナノデアリマス、
中津ヘ繋ギマシテソレカラ門司ヘ出テ參
リ、福岡縣ノ鑛業地帯ヘ參リマスルノニハ
餘程迂廻ヲ致シマス、所ガ日田・添田間ヲ
繋ギマスルト云フト、一直線ニ向ヒマスカラ
非常ニ便利ニナルノデアリマスカラ、永遠
ノ國家政策ヲ考ヘマスルト云フト、斯ウ致
スヨリ外ナイノデアリマス、ソレガ何故出
來ルカト申シマスルト云フト、先到申シマシ
タ名雨線ト同ジヤウニ、建設規程ノ改正、
運輸規程ノ改正ニ依ッテ、三十分ノ一ノ勾
配デモ工事ガヤレマスルノデ、其事ガ近頃
定リマシタノデ、此線ヲ採ルコトニ致シタ
ノデアリマシテ、其外何ノ意味モアリマセ
ヌ、ソレカラ四國デアリマスガ、四國ノ須
崎・窪川間ノ鐵道デアリマス、是モ何レカケ
ナケレバナラヌ鐵道デアリマシテ、一方ニ
山林地帯ヲ控ヘ、一方ニ海岸ヲ控ヘテ居リ
マシテ、水産物、林産物ヲ初メト致シマシ
テ、相當物資ハアルノデアリマス、之ヲズッ
ト宇和島邊マデクツ付ケマスカ、クツ付ケマ
セヌカマダ定メテ居リマセヌケレドモ、兎
ニ角結局ハ其處デクツ付ケテ、此方面ノ開發
ニ使フ積リデアリマス、此線ノ如キハ一二
年遅クシテモ宜イト云ヘバ宜イノデアリマ
スルガ、一ツハ土讚線……香川縣カラ高知
縣ヘ通ジマスル土讚線、是ガ明年完成イタ
シマス、明年完成イタシマスルト云フト、
是ハ相當大キナ工事デアリマシタノデ、事
務所、出張所ヲ置イテアリマスルカラ、是
ガ出來マスルト引續イテ高知縣ノ此仕事ヲ
ヤルガ經濟的デアルト云フトカラ決メ
タノデアリマス、今回八線入レマシタ中デ、
私ハモウ有リノ儘ヲ申上ゲマスルガ、此高

知縣ノ線ノ如キハ、地方ノ人ハ何人モ知ラ
ナカッタノデアリマス、高知縣ハ寧ロ、地圖
ヲ御覽ノ通り、高知カラ東ニ廻リマスル鐵
道ニ付キマシテハ何十人ト云フ人ガ屢、熱
心ニ運動ニ參リマシタガ、私ハ一切肯カズ
シテ、少シモ運動ノナカッタ此線ヲ選ンダ
ノデアリマス、添田・日田間ニ致シマシテ
モ、其地方ノ人ハ、此方カラ決メテ後ニ知ッ
タノデアリマス、一度モ運動ハアリマセヌ、
鹿兒島縣ノ指宿・山川間ノ如キモ、少シモ知
ラナカッタノデアリマス、大宮・飯能ノ如キ
ハ勿論デアリマス、ソレカラ北海道ハ、是ヨ
リモモト外ノ線ノ方ガ運動ガ猛烈デアリ
マシテ、ソレヲ一切排斥シテ、北海道長官
ノ意見ヲ尊重シテ之ヲ決メテ居マシマス、
會津方面ニ付キマシテモ、我ガ決メ
タ後ニ會津方面ノ人ガ二三運動ニ參リマシ
タガ、ソレヨリ先ニ決メテ居ッタノデアリ
マス、此外ニ猛烈ニ運動サレテ屢、來ラレ
タ、斯ウ云ッタヤウナ鐵道デハ一ツモ入レテ
居リマセヌ、斯ウ云フ譯デアリマスルカラ、
私ノ鐵道計畫ニ付キマシテハ、私ハ衷心ヨ
リ斯様ナコトヲ考ヘテ居リマス、黨利黨略
ナドニ囚ハレヌト云フコト、黨利黨略ニ囚
ハレルコトガアリトスレバ之ヲ排除スルト
云フコトガ、私ノ鐵道大臣トシテノ一番大キ
ナ使命ト考ヘテ居ルノデアリマスカラ、ド
ウカ此點ニ關シテハ御安心ヲ願ヒタイノデ
アリマス、唯新線ヲ入レル位ナラバ、寧ロ
公債發行額ヲ多クスルコトハ止メテ、外ノ
方ヘ廻シタラ宜イデヤナイカ、此場合鐵道
ナドハ急ガヌノデアルト云フ、是モ一ツノ
御議論デアリマス、併ナガラ財政上ノ所謂
赤字公債ト云フモノハ、昨年ヨリハ本年、
本年ヨリハ明年ト順々ニ一般會計ダケデ考

ヘマシテモ減シテ行カヌケレバオラス、公債
ノ發行ノ限度全體ガドレ位デ宜シイカト云
フコトヨリモ、一般會計ノ赤字公債ト云フ
モノハ毎年々々減シテ行ク傾向ヲ持タケレ
バ、財政上ノ信用ヲ保タレマセヌ、此見地カ
ラ大藏大臣ガ非常ニ苦心シテ一般會計ノ
赤字公債ヲ抑ヘテ居ルノデアリマシテ、鐵
道特別會計ノ方ハ、是ハ別個デアリマス、
成程八百萬圓増スノ止メタラソレダケ一
般會計ノ方デ發行餘力ガアルト御考ニナリ
マスルケレドモ、發行餘力ガアリマシテモ、
即チ一般市場ガソレダケ消化スルト致シ
マシテモ、一般會計ダケデ茲ニ赤字公債ハ
ドウシテモ減シテ行カヌケレバナラヌト、
斯ウ云フ見地カラ出タノデアリマスカラ
ラ、是トハ全然別個ノ問題ト御承知ヲ願ヒ
タイノデアリマス、尙ホ詳シイコトハ委員
會等ニ於テ申上ゲマス

可ガアルト六箇月經ツレバ、ソレニ著手シ
ナケレバナラヌト云フ義務ガアルノデアリ
マスルカラシテ、多クノ場合ニ於テヤル時
迄ハ黙ツテ、認可ヲ申請シテモ認可ノナラナ
イヤウニ運動シテ、愈、ヤルト決ツタ時ニ認
可ヲ請フノガ今迄ノ例デアリマス、ソレデ
悉ク施工認可ガ取ツテナイト云フコトハ其
通りデアリマス、併ナガラ施工認可ガ取ツテ
ナイト云フモノノ中デ、例ヘバ野澤ノ發電
所ノ如キモ、マダ施工認可ハ取ツテナイケレ
ドモガ、東電ガヤル考ヘデ、モウ鐵道ガ柳
津迄カカツタカラ、是カラボツ／＼鐵道ノ利
益ヲ受ケルノダト云フヤウナ願ヲシテ、マ
ダ認可ヲ受ケテ居ナイガ、發電所ノ建設計
畫ニ掛ツテ居ル、是ハ東電ノ人モ鐵道會議ニ
於テ述ベタ所デアリマスルカラ間違ノナイ
所デアリマスガ、ソレカラ又寄附ヲスルト
云フコトハ、寄附ヲ受ケル必要ハナイ、利
益ヲ受ケル人ガアツテモ、ソレカラ寄附ヲ取
ルト云フコトハ宜クナイト云フヤウナ御話
デアリマシタ、併ナガラ現ニ鐵道省ニ於テ
モ或時代ニ於テハ、寄附ヲ取ルト云フコト
ハ宜クナイ、鐵道ノ停車場ヲ拵ヘル時ニ
寄附ヲ取ル習慣ガアツタケレドモ、停車場ヲ
造ルト云フコトハ國家ノ事務デアアル、ダカ
ラ國家ノ費用ヲ以テ造ル、ソレデ寄附ヲ取
ルトハ相成ラヌ、寄附ヲ取ル結果トシテ
其地方ノ何等ノ利益ヲ受ケナイ者ニモ皆寄
附ヲ強要スルコトニナルカラ、鐵道省ガ停
車場ヲ建設スルト云フ場合ニ於テ寄附ヲ取
ルト云フコトハ出來ヌ、シチヤナラヌト云
フヤウナ意見デ、仙石鐵道大臣ノ時ニハ寄
附ヲ取ルト云フコトヲ禁ジタコトガアリマ
ス、併ナガラ其ヤウニ潔癖ニヤツタ爲ニ、非
常ニ停車場ノ新設ガ遅レルカラソレ止メ

テ、現在ニ於テハ停車場ヲ造ル場合ニ於テ
ハ寄附ヲ取ツテ居ル、停車場ヲ拵ヘル爲ニ、
ソレ等ニ依ツテ利益ヲ受ケル所ノ人カラ寄
附ヲ取ツテオイデニナル、是ハ請願ヲスルカ
ラト云フノデアリマスガ、請願ヲスルト云
フノハ話合ノ上ノコトデ、東電ニ對シテモ
私等ノ方ハ今急ニ鐵道ヲ拵ヘル考ハナイノ
ダ、唯利益ヲ受ケルノハ東電ダケダ、他ノ
人ハサウ利益ヲ受ケナイ、東電ハ自分デ此
鐵道ヲカケテモ引合フ位ノ工事ヲ有ツテ居
ル、ソレカラ取ツテモ差支ナイ、取ルノガ當
リ前ダ、私ハサウ考ヘル、鐵道省ノ政策ト
矛盾シテ居ナイノデアリマスルガ、左様ナ
状態デアリマス、又初耳ト云フヤウナコト
ハ言ウタコトハナイト云フヤウナコトヲ鐵
道大臣ハ今言ハレマシタケレドモ、鐵道會
議ノ速記録ヲ見マスト、「鐵道省建設局長池
田嘉六君、東京電燈ノ發電所ト云フヤウナ
コトハ私ハ全ク初耳デ、只今承ツタバカリデ
アリマス」、斯ウ云フコトヲ言ウテ居ル、ソ
レガ初耳デアアツタカ、初耳デナカッタカト
云フヤウナコトハ、今更論ズル必要ハアリ
マセヌケレドモガ、併ナガラ明ニ鐵道會議
ニ於テ述ベラレタ所ニ依リマスト、發電所
ヲ造ルト云フコトハ初耳デアアツタラシイ、是
ハ私ハ嘘ヲ申上ゲタノデナク、速記録ニ左
様ニ書イテアルト云フコトダケ申上ゲテ
置キタイ、尙ホ色々伺ヒタイコトモアリマ
スガ、先程モ申シマシタ通りニ、時間モ過
ギマシタシ、又委員會ガ是カラ開カレルコ
トト思ヒマスカラ、詳シイコトハ委員會
讓リマシテ、質問ヲ打切りタイト思ヒマス
○副議長(伯爵松平賴壽君) 是ニテ質疑ハ
終了イタシマシタ

○子爵池田政時君 只今議題ニ上ボリマシ

○副議長(伯爵松平賴壽君) 宜シウゴザイ
ヲ御許シ願ヒマス

○青木周三君 簡單デスカラ此處カラ發言
ヲ御許シ願ヒマス

○青木周三君 時間モ段々切迫イタシマス
カラシテ、只今鐵道大臣ノ御述ベニナリマ
シタ辯明ニ對シテハ、嫌ラヌモノガ非常ニ
澤山アリマスルケレドモ、一々ソレヲ論難
スルコトハ時間ガ許シマセヌカラ之ヲ省キ
タイト思ヒマス、唯、今鐵道大臣ガ只見川
ノ溪流ニハ、水利權ノ許可ハ得テ居ルケレ
ドモガ、認可ヲシタモノハ一ツモナイト云
フコトデアリマス、正ニ其通りデアリマス
ルケレドモガ、鐵道大臣其外一般ノ方ガ御
存知ノ通りニ、此工事施行許可ト云フモノ
ハ、將ニヤラウト云フコトガ極ツタ時ニ初
メテ、ドウカ許可ヲシテ下サイト云ツテ、認

○副議長(伯爵松平賴壽君) 是ニテ質疑ハ
終了イタシマシタ

○子爵池田政時君 只今議題ニ上ボリマシ

夕鐵道敷設法中改正法律案ハ重要ナル法案デアリマスルガ故ニ、此特別委員ノ數ハ十五名トシ、其指名ヲ議長ニ一任スルト云フ動議ヲ提出イタシマス

○子爵戸澤正己君 動議ニ賛成イタシマス
○副議長(伯爵松平賴壽君) 池田子爵ノ動議ニ御異存ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、書記官ヲシテ特別委員ノ氏名ヲ朗讀イタサセマス
〔小林書記官朗讀〕

鐵道敷設法中改正法律案特別委員

- 公爵山縣 有道君 侯爵佐佐木行忠君
- 伯爵有馬 頼寧君 子爵加藤 泰通君
- 子爵秋元 春朝君 子爵高橋 是賢君
- 太田 政弘君 桑山 鐵男君
- 男爵辻 太郎君 男爵小畑大太郎君
- 男爵中村 謙一君 青木 周三君
- 古島 一雄君 稻畑勝太郎君
- 風間八左衛門君

○副議長(伯爵松平賴壽君) 日程第九ヨリ第三十マデ、各請願會議、全部一括シテ議題ニ供シマス

意見書案

貴族院伯爵子爵議員選舉規則中改正ニ關スル件

東京市板橋區練馬仲町僧侶守山聖眞 外四百七十一名呈出

右ノ請願ハ諸宗ノ僧侶又ハ教師ハ曩ニ衆議院議員選舉法ノ改正ニ因リ被選舉權ヲ附與セラレタルニ拘ラス貴族院伯爵子爵議員選舉規則ニ於テ今尙其ノ被選人タルコトヲ除外セララルハ彼此權衡上甚遺憾ナルニ依リ同規則第二條ヲ削除セラレハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法

第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日 貴族院議長 公爵近衛 文麿

内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

都市計畫ニ依リ寺院境内地ノ受益者負擔金免除規則制定ノ件

東京市板橋區練馬仲町僧侶守山聖眞 外四百七十四名呈出

右ノ請願ハ寺院及佛堂境内地ハ從來其ノ使用上種種ノ制限ヲ受ケ有利ナル施設等ヲ禁止セララルルニ拘ラス近者都市計畫ニ依リ道路ノ擴張並鋪裝完成等ノ爲受益者負擔金ヲ課セラルルハ遺憾ナルヲ以テ同負擔金ヲ免除セララルヤウ規則ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日 貴族院議長 公爵近衛 文麿

内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

石川縣福浦港築設ノ件

石川縣羽咋郡福浦村長直宮助松外十二名呈出

右ノ請願ハ日本海沿岸ニ於ケル屈指ノ良港ナル石川縣羽咋郡福浦港ハ海陸交通ノ要衝ニシテ近時沖合漁業ノ著シキ發展ト相俟テ出入船舶激増シ加之僅少ノ經費ヲ以テ容易ニ之カ恰當ノ港灣ト爲シ得ヘキナリ然ルニ道般政府ニ於テハ樞要港灣ヲ指定セララルルヤニ仄聞スルニ依リ同港ヲ指定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿

内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

八戸港ヲ第二種港灣ニ編入ノ件

青森縣八戸市長神田重雄呈出

右ノ請願ハ北日本東海岸ニ於ケル要港ナル青森縣八戸港ハ近時港灣施設ノ進捗ニ伴ヒ漁業ノ根據地ナルノミナラス商港トシテ亦船舶ノ出入並物資ノ吞吐共ニ激増シ加之將來北海道東海岸ニ於ケル諸港ト相俟テ資源開發上資スル所大ナルニ依リ速ニ同港ヲ第二種港灣ニ編入セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

昭和九年 月 日 貴族院議長 公爵近衛 文麿

内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

土地收用法中改正ニ關スル件

新潟縣長岡市東千手町四百六番地ノ三公吏木村清三郎呈出

右ノ請願ハ道府縣市町村立ノ公園ヲシテ國立ノ夫ト等シク土地收用法ヲ適用セシムルハ其ノ使命ニ鑑ミ當然ノ理ナルニ拘ラス未之ヲ見サルハ彼此權衡ヲ失シ國民保健上並災害防止上等遺憾甚シキニ依リ同法第二條第一項第四號中「國立公園」トアルヲ「公立公園」ト改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日 貴族院議長 公爵近衛 文麿

内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

國立吃音矯正機關設置ノ件

大阪市東成區勝山通八丁目四十番地 教員松澤忠太呈出

右ノ請願ハ我國民中吃音ナルカ爲天賦ノ能力ヲ發揮シ得サルモノ頗ル多數ナルハ吃音者自身ノ不幸ナルノミナラス延テ國家ノ損失ナルニ依リ速ニ國費ヲ以テ吃音矯正機關ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

昭和九年 月 日 貴族院議長 公爵近衛 文麿

内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

農村匡救土木費並用水幹線改良費豫算増額ニ關スル件

栃木縣足利郡御厨町長岡村勇外四名呈出

右ノ請願ハ栃木縣足利郡南部ニ於ケル御厨町並山邊、筑波、梁田、久野ノ諸村ハ其ノ灌溉用水タル足尾銅山ヨリ流入スル河水ノ被害排除ノ爲ニカ對策トシテ縣營ニ依リ湧水伏流ノ用排水幹線改良事業計畫成レリ然ルニ政府ニ於テハ明年度農業匡救土木及用水幹線改良ノ兩費ヲ削減セラルクテハ之等關係町村ノ困窮一方ナラサルニ依リ同費ハ之ヲ増額シ以テ農村更生ノ實ヲ擧ケラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和九年 月 日 貴族院議長 公爵近衛 文麿

内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

養蠶組合指導員設置國庫補助ノ件 滋賀縣高島郡大溝町養蠶實行組合長 上原茂次外二百十五名呈出

山形縣南村山郡本庄村大字楡下字金山六十六番地金山養蠶實行組合長清野吉司外二百十五名呈出

島根縣飯石郡飯石村養蠶實行組合長松村恭外百五十三名呈出

埼玉縣北足立郡小谷村大字小谷二千五百七十番地根根養蠶實行組合長鈴木梅太郎外百七十六名呈出

靜岡縣磐田郡下阿多古村養蠶實行組合長松野勝太郎外二百九十五名呈出
愛媛縣今治市養蠶實行組合長田坂庄三郎外二百四十八名呈出

右ノ請願ハ經濟共同ノ實ヲ擧ケ生産並販賣ノ改良統制ヲ企圖シ眞ニ組合ノ機能ヲ發揮セムニハ一ニ組合活動ノ中心機關タル指導員ノ設置ヲ急務トスルヲ以テ養蠶業者刻下ノ窮狀ヲ察シ組合指導員設置ニ對スル國庫助成ノ途ヲ啓カレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
昭和九年 月 日
貴族院議長 公爵近衛 文麿
內閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

官幣大社熊野坐神社遷座改築ノ件

和歌山縣東牟婁郡本宮村長大谷昌吉外二十三名呈出

右ノ請願ハ和歌山縣東牟婁郡本宮村ニ鎮座セラルル官幣大社熊野坐神社ハ古來由緒アル靈社ニシテ上下ノ尊崇隆ナリシニ拘ラス明治二十二年ノ水災以來殊ニ中、下兩社ノ荒廢ニ委スルハ洵ニ恐懼ニ堪ヘサルノミナラス該地方ハ亦國立公園候補地ナルニ依リ同神社及中、下各四社並攝末社ヲ舊境内ニ遷座改築ヲ爲ス等復舊ノ實ヲ擧ケ以テ國民教化ニ資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採

擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
昭和九年 月 日
貴族院議長 公爵近衛 文麿
內閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

戰公傷病死者並傷殘軍人ノ遺族扶助料ニ關スル件

石川縣金澤市西町一番丁三十九番地平民土田外次郎外百四十八名呈出
右ノ請願ハ戰死者、公傷病死者及戰公傷殘者ノ遺族ニシテ生活上窮境ニ陥レル者アルハ國民思想涵養上甚遺憾ナルニ依リ其ノ扶助料ヲ増額シ以テ其ノ生活ヲ安定セシムルト共ニ恩給給付實施以前死亡ノ戰公傷者ニ對シ死亡當時同一戸籍内ニ在リタル寡婦ニモ亦扶助料ヲ支給セラレ且傷病年金受給者並戰地ニ於ケル公務傷病者ヲ優遇セラルル等請願人等所案ノ如ク恩給法ヲ改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
昭和九年 月 日
貴族院議長 公爵近衛 文麿
內閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

愛知縣碧海郡刈谷町ニ登記所設置ノ件

愛知縣碧海郡刈谷町長井野直治外一名呈出

右ノ請願ハ愛知縣碧海郡刈谷町附近ハ交通ノ要衝ナルノミナラス近時産業ノ發達ニ伴ヒ戸口亦増殖シ爲ニ登記事務激増セルニ拘ラス管轄知立登記所ハ之カ利用上不利不便ナルニ依リ速ニ同町及依佐美村ヲ管轄區域トスル登記所ヲ同町ニ設置セラレタク尙敷地並廳舎等ハ地元町村ヨリ貸供スヘシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ

大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
昭和九年 月 日
貴族院議長 公爵近衛 文麿
內閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

伊東金銀鑛採掘權取消ニ關スル件

靜岡縣田方郡伊東町長上原重平外三百八十六名呈出
右ノ請願ハ曩ニ許可セラレタル靜岡縣田方郡伊東町ニ在ル金銀鑛ハ學說並既往ノ實績ニ徴シ其ノ掘鑿ニ因リ溫泉又ハ水源ニ之方許可ノ取消ヲ爲サシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
昭和九年 月 日
貴族院議長 公爵近衛 文麿
內閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

宮崎縣東臼杵郡門川村ニ區裁判所出張所設置ノ件

宮崎縣東臼杵郡門川村大字門川尾末十三番地農小野千代吉外二千五百五十三名呈出

右ノ請願ハ宮崎縣東臼杵郡門川村ハ地域廣大ニシテ人口亦多ク從テ登記事務夥多ナルニ拘ラス管轄延岡區裁判所尙高出張所ヲ距ルコト遠ク村民ノ不便尠カラサルニ依リ速ニ同村ニ同區裁判所出張所ヲ設置セラレタク尙廳舎、倉庫等必要ナル設備ハ地元ヨリ提供スヘシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
內閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

林野治水ニ關スル件

東京市赤坂區溜池町一番地全國山林會聯合會頭子爵東園基光呈出
右ノ請願ハ洪水氾濫ノ主因ヲ爲ス荒廢林野ニ對スル治水計畫ハ昭和九年度ヲ以テ終了セラルルルヤニ聞クモ尙引續キ急務ヲ要スルモノ及新ニ施設ヲ要スルモノ尠カラサルニ依リ第二次治水ノ計畫ヲ樹立セラレ他面疲弊セル農山村ノ經濟ニ密與スルヤウ其ノ内容ヲ擴充シテ昭和十年度ヨリ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
昭和九年 月 日
貴族院議長 公爵近衛 文麿
內閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

林野整備促進ニ關スル件

東京市赤坂區溜池町一番地全國山林會聯合會頭子爵東園基光呈出
右ノ請願ハ曩ニ林野整備ニ關スル諸般ノ準備對策ヲ完了セルニ拘ラス之カ實行ヲ見サルハ甚遺憾ナルヲ以テ速ニ當初ノ方針ニ準據シ其ノ實現ニ努メラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
昭和九年 月 日
貴族院議長 公爵近衛 文麿
內閣總理大臣子爵齋藤實殿

山陽本線鐵道麻里布、山陰本線鐵道萩ノ兩驛間鐵道敷設ノ件
意見書案
內閣總理大臣子爵齋藤實殿

山口縣玖珂郡岩國町長永田新之允外二十八名呈出

右ノ請願ハ豫定線鐵道岩國、日原間鐵道ノ中間ニ於ケル山口縣玖珂郡廣瀬村ヨリ豫定線鐵道徳佐、大井間鐵道ニ連絡スル鐵道ヲ敷設シ全線開通ノ曉ハ管ニ沿線地方ニ於ケル林産、鑛産等ノ資源ヲ開發スルノミナラス萩港ノ發展ト相俟テ遠ク朝鮮並滿洲國ヲ連絡スル捷徑ニシテ軍事上亦須要ノ線路ナルニ依リ速ニ之ヲ實現セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
昭和九年 月 日
貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

漁村金融ノ改善ニ關スル件
東京市赤坂區溜池町三會堂内帝國水産會會長子爵野村益三呈出
右ノ請願ハ改正漁業法ハ今猶ホ實施セラレヌ加フルニ漁村ノ金融ニ關シテハ未何等施設ノ改善セラルルナキハ誠ニ遺憾ナルニ依リ政府ハ速ニ適當ノ施設ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
昭和九年 月 日
貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

漁村指導技術員設置助成ノ件
東京市赤坂區溜池町三會堂内帝國水産會會長子爵野村益三呈出
右ノ請願ハ漁村ノ如キ最モ技術の指導ノ必要アルモノニ關シテハ夙ニ技術員ノ普及ヲ圖リ其ノ更生、改善其他諸般ノ指導ヲ最モ必要トスルモノナルニ依リ速ニ漁

村指導技術員設置助成ノ途ヲ啓カレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
昭和九年 月 日
貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

漁村組合指導機關充實ニ關スル件
東京市赤坂區溜池町三會堂内帝國水産會會長子爵野村益三呈出
右ノ請願ハ漁村ノ經濟機關タル漁業組合ノ指導ニ關シテハ中央及地方ニ若干ノ機關ヲ設置セラレタリト雖何レモ人員過少ニシテ非常時ニ善處スヘキ漁業組合ノ徹底の指導ヲ期待スル能ハサルニ依リ速ニ適當ノ施設ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
昭和九年 月 日
貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

水産物運賃低減ノ件
東京市赤坂區溜池町三會堂内帝國水産會會長子爵野村益三呈出
右ノ請願ハ水産物ハ米麥等ト共ニ國民生活上必需品タルノミナラス又海外輸出品トシテモ有力ナル地步ヲ占ムルモノナルヲ以テ之カ生産費ノ低減ヲ圖ルハ急務ナルニ依リ就中近年魚價ノ低落甚シク運賃ノ負擔ニ困シムノ状態ナルニ依リ速ニ水産物運賃ノ低減ヲ斷行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
昭和九年 月 日

貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

水産物輸出増進ノ件
東京市赤坂區溜池町三會堂内帝國水産會會長子爵野村益三呈出
右ノ請願ハ水産物ハ我國重要輸出品ニ屬シ現下ノ世界の不況時ニ拘ラス滿洲其ノ他各方面ニ進出シツツアルハ頗ル注目スヘキ現象ナレハ徹底のニ非常時ニ於ケル水産物輸出ニ關スル施設ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
昭和九年 月 日
貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

意見書案

鮭鱒ノ基本調査並増殖施設ニ關スル件
東京市赤坂區溜池町三會堂内帝國水産會會長子爵野村益三呈出
右ノ請願ハ鮭鱒ハ我國ニ於ケル重要水族ナルヲ以テ政府ハ從來之ニ關スル研究調査並増殖ノ施設ヲ講セラレタリト雖今ニシテ抜本的對策ヲ確立スルニアラサレハ其ノ將來誠ニ寒心ニ堪ヘサルモノアルニ依リ速ニ鮭鱒ニ關スル基本的調査ヲ徹底的ニ施行スルト共ニ人工増殖ヲ擴張セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
昭和九年 月 日
貴族院議長 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣子爵齋藤實殿

○副議長(伯爵松平賴壽君) 請願全部、委員長ノ報告通り採擇スルコトニ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス、本日ノ議事ハ是ニテ終了イタシマス、女會ノ議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日は是ニテ散會イタシマス
午後零時二十五分散會